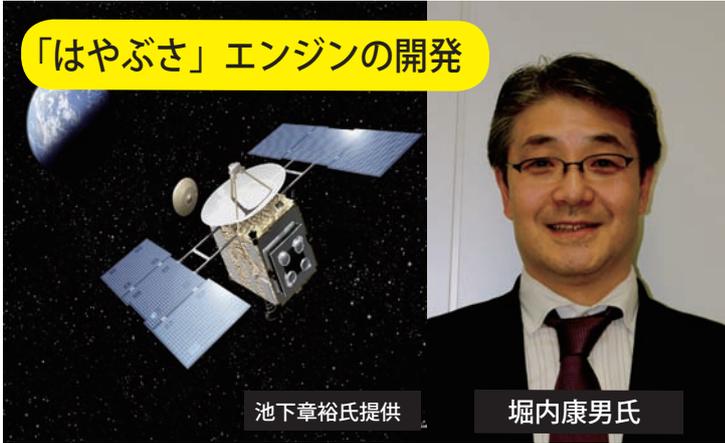


第 50 回総会 (7 月 3 日) 開催へ 講演と音楽の 2 大イベント



池下章裕氏提供

堀内康男氏

【日時】7 月 3 日 (日)
12:45 受付開始
13:30 ~ 17:30
講演会、総会、演奏会、懇親会

【会場】如水会館 (☎ 03-3261-1101)
千代田区一ツ橋 2-1-1

【会費】6,000 円
106 期以降は 2,000 円

【交通】

- 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車
A8、A9 出口 徒歩 3 分
- 地下鉄東西線竹橋駅下車
1b 出口 徒歩 4 分

会場では、会員の作品展示、頒布も実施します。写真、詩歌、随筆、紀行文、評論文、書籍、手工芸品などの出品、ボランティア活動などの人材募集 PR、母校の思い出、班活動、同窓会・同期会・同級会活動の記録などの出品を歓迎します。

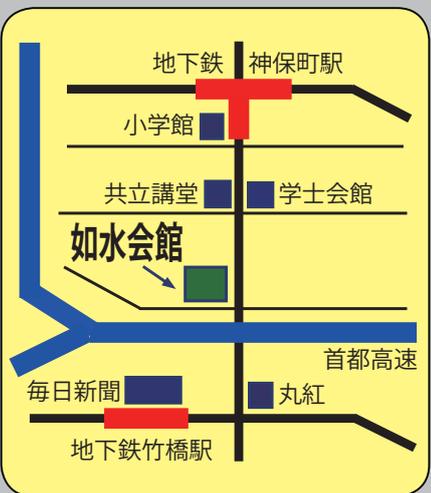
【申込み・問い合わせ先】
小松正佳 (64 期) 電話 090-9102-1926
Eメール masayoshi.komatsu@hotmail.co.jp

関東同窓会は 7 月 3 日 (日)、千代田区一ツ橋の如水会館で第 50 回総会を開催します。今年のイベントは、小惑星探査機「はやぶさ」のイオンエンジン開発に携わった堀内康男氏 (81 期) の講演と、成長著しい母校室内楽班の演奏です。

前号の「うえだ人」で紹介した堀内氏の講演は、「ぜひ話を聞きたい」との会員からの強い要望を受けて企画しました。堀内氏は「世界初となる技術の開発経緯について紹介し、技術継承への思いについても話したい」と言っています。

母校室内楽班の来演は 04 年、06 年に続いて今回が 3 回目。顧問の長谷川和生先生 (64 期) の指揮で、美しいアンサンブルを披露してくれそうです。

多数の皆さんの参加をお待ちしています。



新会長候補に 滝澤進さん (61 期)

関東同窓会を率いてきた白井透会長 (60 期) は今総会で 3 年間の任期を終了し、退任します。

後任候補の選考を進めてきた役員選考委員会 (委員長・鷹野芳機副会長) は 4 月 14 日の幹事会で、新会長候補に 61 期の滝澤進さんを推薦することを提案し、了承されました。総会で正式に承認を得た後、滝澤新体制が発足します。

滝澤さんは東京大学卒業後、運輸省 (現国土交通省) に入省し、航空局管制保安部長、東京航空局長などを歴任。1997 年に退官後は日本観光協会理事長、エア・ドゥ (北海道国際航空) 社長として活躍し、現在は航空貨物運送協会理事長を務めています。

第 50 回総会を記念し、出席者に本会報全号収録の CD を進呈

生き生きとした交流の場に

情報発信基地のHP充実も

会長候補 滝澤 進 (61期)



りますが、心のうちには、いつも故郷があり、多感な青春時代を過ごした上田高校が心の支えとなっております。

このたび、上田高校関東同窓会会長候補としてご推薦いただきました61期の滝澤進です。

まず、このたびの東日本大震災でお亡くなりになられた皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

我々は故郷を離れて暮らしてお

これまで、上田高校関東同窓会は、長年にわたる諸先輩のご尽力によって、関東に在住する同窓生のきずなとして、大きな役割を果たしてきました。

私自身は非力にして伝統ある同窓会の会長の任に耐え得るか自信がありませんが、皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、同窓会の輝かしい伝統を守り、いつその発展を目指して微力を尽くしていきたいと思えます。

また、上田をはじめ故郷

同窓会に期待される役割には様々なものがあると思えますが、同窓生の皆さまにとって同窓会がより身近な存在となることが最も大切だと思えます。

そのため、これまで積み重ねられてきた実績の上に立つて、例えば、次のような点にさらに力を入れていければと思います。

まず、同窓会を生き生きとした交流の場としていっそう充実させていきたいと思えます。様々な分野で卓越した実績を残されて

いる多くの同窓生の皆さまのご協力をいただき、また、若い会員の皆さまの参加が得られるよう工夫しながら、異業種交流や世代交流の場としての役割をいっそう発揮できるように取り組んでいきたいと思えます。

についての情報発信基地として、ホームページの充実を含め、最新の情報の発信ができるよう努力していきたいと思えます。

今後、同窓会活動充実のための具体策について、役員、会員の皆さまのご意見をいただきながら検討し、逐次実施に移していきたいと思えます。

皆さまのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



次期役員候補

会長	滝澤 進 (61期)
副会長	栗山 正雄 (62期)
	(2012年まで幹事長兼任)
〃	小松 正佳 (64期)
〃	上原 昇 (65期)
〃	水島 良子 (67期)
会計長	倉沢 裕 (69期)
副会計長	和氣 寿子 (75期)
編集長	真山 隆夫 (62期)
副幹事長	小山 平六 (62期)
〃	藤川 昇 (63期)
〃	村居 次雄 (64期)
〃	丸山 暢久 (65期)
〃	清水 通男 (66期)
〃	堤 達 (67期)
〃	丸山 洋一 (68期)
〃	小川 亮夫 (69期)
〃	池田有美子 (69期)
〃	花岡千賀子 (70期)
〃	小林 清隆 (71期)
〃	関 博明 (72期)
〃	福田 礼子 (72期)
監事	荻原 隆治 (61期)
〃	藤巻 禮子 (64期)

第50回総会・懇親会の式次第

第1部：講演会

堀内康男さん (81期) 小惑星探査機「はやぶさ」のエンジン開発

第2部：総会

会務報告、決算報告、会務計画案、予算案、役員選任

第3部：演奏会、懇親会

母校室内楽班の演奏、会食 (ビュッフェ形式)、校歌・凱歌斉唱



日はまた昇り 輝き続ける

頑張ろう日本

藤堂インターナショナル株式会社

内久根 克彦 (59期) 小宮山 豊 (65期) 小山 雅堂 (65期)



新年会

鬼丸さんの落語楽しむ



落語「目薬」を熱演する三遊亭鬼丸さん

関東同窓会恒例の新年会が1月20日、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれた。今年のイベントは、昨年に真打ちに昇進した三遊亭鬼丸さんの落語。会場には鬼丸さんの出身校、上田染谷丘高校の同窓生を含む103人が詰めかけた。

演目は古典落語の「紙入れ」と「目薬」。浮気したおかみさんの家に紙入れ(財布)を忘れて慌てる男と、目薬の効能書きにある「めじり」を「女の尻」と勘違いする男の話。熱演する鬼丸さんの話芸に、どっと笑いが沸き起こった。

鬼丸という怖い名前になった経緯については、師匠(三遊亭圓歌)の1字をとって「歌光」はどうかとの提案もあつ



校歌斉唱



総会実行委員当番期の64期が決意表明

たが、「(人気) 下降」とも聞こえるので、由緒あるこの芸名に落ち着いたという。

懇親会は宮下俊夫さん(41期)の乾杯で始まり、7月の総会実行委員の当番期である64期と69期が決意表明。最後は藤村延魚さん(54期)、宮島光男さん(55期)らのリードで校歌などを歌った。

被災者を思い、元気に明るく

同窓会初出席の若者から



まず、このたびの震災で被災されました方々にお見舞い申し上げます。

興に向けて懸命の対応をされています。政府、企業、住民全体が私たち自身の生活を守ろうとしています。

「何をしたら私たちの生活を守れるか、役に立てるか」と私は考えています。

1月に初めて母校の同窓会に出席した際は、諸先輩方と知り合え、今年が良い年になりそうだと期待しました。しかし、3月11日の大地震とそれに伴う大津波は、その期待を崩し、大きな傷を人に大地に残しました。

幸い、希望していた小売業に就職できました。研修の身のため、商品の仕入れはできませんが、まずはお客様に「いらっしゃいませ!」と元気に明るく接することで、お客様の気持ちを自然と明るくできるようにしたいと望んでいます。そのことで、だんだんと、少しずつ社会が明るくなり、その結果、私たちの生活が次第に落ち着くことを願っています。

被災地の方々はもちろんのことですが、地震、津波の被害を直接受けていない各地の人々も大きな衝撃を受け、震災で傷ついていない人は、どんなでもないのではないかと推察します。

これからも私たちの生活に貢献できるよう、勉強と実行を重ねてまいります。

母校同窓生の皆さまが今後もお元気でいられることをお祈り申し上げます、筆を置かせていただきます。

大谷真宙 (103期)

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表)
FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長) 岩井重一 (62期)
安田隆彦
弁護士 平澤慎一
黒澤英輔
黒澤真志

会報「うえだ」の軌跡

全号収録の記念CDが完成



総会参加者でご希望の方には本CDを進呈いたします。それ以外は、総会後の有料配布（1枚1,000円/送料込み）となります。

CDの内容

は、全号のPDFデータのほか①会報から抽出した特別企画、トピックス、う

えだ人、新会長、新校長、各種寄稿、班活動などのインデックス②同窓会の沿革

③歴代役員名簿④総会資料の表紙⑤総会50回の歩み⑥創刊号の写真

記事を見ると、創刊号には永六輔さん（50期）が特別寄稿している。上田市長、国會議員、東信地区他校同窓会からの寄稿なども多く、会員も多彩な記事を投稿している。

同期会、同郷会、勉強会、班OB会、他校同窓会との交流も盛んで、17号では「関東支部の歌」が選定された。

会報フォーラム（編集会議）を何回も開き、内容を検討し、併せ

て広告委員会が精力的に広告を集めた様子が分かる。会報会計は独立採算で広告を各期に割り当てて募集した。発送作業はみんなで行っている。

90年の名簿発行で会員に願うする広告費が増大したので「会報は年1回にし広告費負担を減らすべきだ」との意見が強まったが、情報発信の重要性から年2回発行が継続された。

創刊号はタブロイド版の12Pで発行され、次号から20年間、42号までは基本的に8P建て。20号記念号、母校80周年、スポーツ特集などは増ページされた。90年6月の43号から6年間は4Pに減っている。96年12月の56号から現在のA4版となり、04年6月の71号から表裏表紙がカラー化された。12Pが多いが、76号から16Pや20Pと内容が豊富となった。06、07年は財政面から年1回となったが、翌年末は簡易版が6Pで発行され、その後、新年号はモノクロ版12Pとなった。

▼データ化に取り組み

02年10月に同窓会事務所が開設され、HP用のパソコンが導入された。作業で事務所に通ううち、会報が保存されていることを知った。会報のデータ化を思いついたが、タブロイド版のため、家庭用

のスキナーでは対応できない。レンタル品を検討したが、かなりの費用になりそうだったので、フォークションで大型を購入した。

05年から作業を開始し、5年間かかった。紙では文字も小さく黄ばんでいて見にくい、データ化しパソコンで閲覧すると、かなり細かく再現できるので驚いた。解像度を上げると拡大率も上げられるが、データ容量も大きくなるので適当に妥協した。

1ページずつスキナーで読み

込み、画像処理ソフトで修正し、PDFファイルで保存、全ページを結合して再保存するなど、作業量は多い。特に16号から47号までは見開きのページがあり、両面の区切りがないので画像処理ソフトで張り合わせた。

A4版は郵送されたものを自宅のスキナーで処理した。最近では会報編集長からPDFファイルを送ってもらうので作業はなくなった。コントラストが薄く見にくいページなども多々あるが、ご容赦願います。石井則男（64期）

同窓会ホームページを運営

最新の情報発信と記録

同窓会独自のホームページ（HP）は2002年11月18日に開設し、8年半で4万6000人を超える方々に見ていただいた。それ以前は99年8月に「この指とまれ」というプロジェクトを利用した簡易版を作成した。

年2回発行の会報と違い、会員から寄せられた同窓生の活躍や、母校のこと、信州上田のことなど、最新の情報を逐次掲載している。

初めてHPを訪れた方にもこれまでの会の活動や情報が分かるように、過去の主なイベントなどは残してある。

また二木会のページ（58期）には同窓会のサーバーを提供し、64期と65期のページは作成管理を請け負っている。

石井則男（64期）

<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/>



関東同窓会 (旧関東支部) 総会 50 回の歩み

会の発足は 1948 年 1957 年に甲子園初出場

(敬称略、カッコ内の数字は卒業期)

回	開催日	会場	総会のイベント、その年のトピックなど	支部長・会長 / 実行委員長
1	1958.4.22 (火)	九段	母校改称 (上田松尾高校→上田高校)	宮入清四郎 (10)
2	1962.4.26 (木)	九段	4 年ぶり開催 (関東地区大会)	清水菊三 (7)
3	1963.4	産経	関東地区大会	清水菊三
4	1965.5	リッカー	2 年ぶり開催 (関東支部大会)	清水菊三
5	1966.5	都市	関東支部大会	清水菊三
6	1967.5	都市	関東支部大会、支部会員名簿発行	清水菊三
7	1968.6	麴町		清水菊三
8	1969.6.13 (金)	農林	会報「うえだ」創刊号発行、松尾球友会発足	稲垣征夫 (14)
9	1970.6.12 (金)	農林	母校創立 70 周年、松門会発足	稲垣征夫
10	1971.7.9 (金)	農林	上田経済問題懇談会 (松尾倶楽部の前身)、税友会発足	島田次郎 (21)
11	1972.7.2 (日)	農林	映画「終戦直後の上田」(松浦先生提供)	島田次郎 / 尾台三吉 (30)
12	1973.6.26 (火)	農林	在京啓明会、関東陸文会発足	島田次郎 / 大森頼雄 (23)
13	1974.6.29 (土)	農林	会報「うえだ」10 号記念号	大森頼雄 / 坂井実雄 (28)
14	1975.6.27 (金)	農林		大森頼雄 / 尾台三吉
15	1976.6.28 (月)	農林	支部会員名簿発行、東京平旦会発足	坂井実雄 / 矢島五郎 (31)
16	1977.6.28 (火)	農林	「関東支部の歌」入選作品披露	坂井実雄 / 花岡 俣 (35)
17	1978.6.23 (金)	農林	法友会発足	矢島五郎 / 神野勝男 (36)
18	1979.6.28 (木)	農林	福引、新卒者無料招待の始まり	矢島五郎 / 小林郷司 (40)
19	1980.6.27 (金)	農林	女性 1 期生 (52) が大挙出席、母校創立 80 周年	矢島五郎 / 矢島五郎
20	1981.6.27 (土)	農林	演：山岸宣公 (58)、映画「城跡の母校」	矢島五郎 / 矢島五郎
21	1982.6.29 (火)	池端	会員 5000 人突破、総会出席者 300 余人、関東図南会発足	矢島五郎
22	1983.6.28 (火)	池端		矢島五郎
23	1984.6.28 (木)	東條	演：山崎心子 (染谷)、関東同窓会に改称	矢島五郎
24	1985.6.5 (水)	東條	講：荻沢嘉雄 (36)、基金創設、初の女性役員＝金子節子副会長 (53)	神野勝男 (36)
25	1986.6.20 (金)	東條		神野勝男
26	1987.6.25 (木)	如水	母校 2 度目の甲子園出場	小林郷司
27	1988.6.21 (火)	如水	「会報フォーラム」開催 (4 月)	小林郷司 / 生島信夫 (41)
28	1989.6.15 (木)	如水	サッカー部全国大会出場 (1 月)、昭和から平成に	小林郷司 / 横山誠之助 (42)
29	1990.6.26 (火)	如水	福引、名簿発行、母校創立 90 周年	小林郷司
30	1991.6.29 (土)	如水	福引	横山誠之助 / 小林孝雄 (42)
31	1992.6.20 (土)	如水	福引	横山誠之助 / 山崎延秋 (48)
32	1993.7.9 (金)	如水	演：大林地恵子 (染谷)、会報「うえだ」50 号、剣道班 OB 会発足	横山誠之助
33	1994.7.16 (土)	如水	女性同窓生の会発足 (28 人出席)	山崎延秋
34	1995.7.8 (土)	如水		山崎延秋 / 松園 裕 (43)
35	1996.6.29 (土)	如水	東京上田会発足	山崎延秋 / 高橋昭平 (44-4)
36	1997.6.28 (土)	如水	講：栗田裕夫 (42)、会費を 8000 円に、長野新幹線開業	齋 滋 (50) / 児玉忠雄 (50)
37	1998.7.11 (土)	如水	講：春原秀一郎 (68)、おやき登場、長野オリンピック	齋 滋 / 村田 寛 (51)
38	1999.7.17 (土)	如水	講：吉村晴夫 (53)、名簿管理電子化完了	齋 滋 / 上原佳和 (52)
39	2000.7.1 (金)	如水	講：船渡和男 (72)、パソコン寄贈募金、母校創立 100 周年	丸山瑛一 (51) / 須田武久 (53)
40	2001.7.14 (土)	如水	講：保屋野初子 (74)、演：堀田きよみ (86)、80 歳以上年会費免除、CD 版会員名簿	丸山瑛一 / 沓掛文哉 (54)
41	2002.7.13 (土)	如水	演：黒坂正文 (66)、岩崎ひとみ (65)、西麻布に事務所 (10 月)、HP 開設 (11 月)	丸山瑛一 / 遠山武彦 (55)
42	2003.7.12 (土)	如水	チェルノブイリ募金、社会講座初開催	石井光春 (54) / 神津進 (56)
43	2004.7.4 (日)	如水	演：室内楽班、サルサ演奏会 (3 月)、会報カラー版初発行 (6 月)	石井光春 / 宮坂幸雄 (57)
44	2005.7.2 (土)	如水	演：ダンス同好会、四谷に事務所移転	石井光春 / 仁平光義 (58)
45	2006.7.1 (土)	如水	演：室内楽班	前田喜美子 (54) / 有賀勝雄 (59)
46	2007.6.30 (土)	如水	演：西沢真理子 (91)、三番町に事務所移転 (6 月)	前田喜美子 / 白井 透 (60)
47	2008.6.28 (土)	如水	講：柳澤勝輔 (53)、演：箱山りさ、理科系班 OB 会発足	前田喜美子 / 三井文人 (61)
48	2009.6.27 (土)	如水	演：宇崎竜童ほか	白井 透 / 岩井重一 (62)
49	2010.7.3 (土)	如水	講：宮澤泰正 (84)、演：窪田健志 (99)、母校創立 110 年、「サマーウォーズ」上映会	白井 透 / 田中 稔 (63)
50	2011.7.3 (日)	如水	講：堀内康男 (81)、演：室内楽班	白井 透 / 小松正佳 (64)

会場：九段 (九段会館)、産経 (産経ビル)、リッカー (リッカーミシン会館)、都市 (都市センターホテル)、麴町 (麴町会館)、農林 (東京農林年金会館)
池端 (池之端文化センター)、東條 (東條会館)、如水 (如水会館) イベント：講 (講演)、演 (演奏など)



特別企画 女性座談会

困ったことも今は思い出



出席者

池田松子 (52期) 浜野しめ (52期) 久昌貴代江 (54期)
寺島知恵子 (58期・監事) 水島良子 (67期・副幹事長)
花岡千賀子 (70期) 和氣寿子 (75期)

関東同窓会の節目となる第50回総会を控え、今回は趣向を変えて、女性による座談会を企画しました。男子校で出発した上田高校が初めて女子の入学を認めたのは1951年(昭和26年)。女子第1期生は12人でした。その後、女子の数は一時1けたに減少したものの、少しずつ増え続け、1977年には1000人の大台を突破。昨年は初めて女子が男子を上回るほどになりました。

座談会には女子第1期生のお2人を含む52期から75期までの7人が出席。在学当時の思い出や卒業後の話題などを話してもらいました。女性のトークパワーは聞きしに勝るもの。座談会会場の喫茶店から「閉店です」と告げられるまで、話は一瞬の途切れもなく続きました。

真山隆夫(編集長)

寺島 昨年は女子入学者が191人、男子が173人というニュースが同窓生の間を駆けめぐりました。先ほど学校に確かめましたら、この春は女子150人、男子175人とのことでした。こんな時が来るとは夢にも思わずに上田高校に飛び込んだ先輩お2人、まず当時の様子からお話してください。

池田 兄が上田高校生だったし、周りからの勧めもあって、何となく行こうかと思つたの。学区内の各中学には事前に「上田松尾高校で女生徒を入学させるので、2、3人推薦して」と要望があったよね。



浜野 私の実家は千曲川沿いにあるのですが、中学3年の夏、釣りに来た担任の先生が家に立ち寄り「来年から松尾高校が女子をとるので、行ってみないか」と誘われました。姉たちが通っていた染谷丘高校は家からすぐく遠かったもので、上田高校の方が近くていいなと、何も考えずに入ってしまった。自覚が足りなかったと、後で深く反省しましたけど…。女子のトイレはなくて、昔の寄宿舎跡のトイレ1カ所だけ男子禁制にして使っていたのよ。

寺島 女子トイレができたのは56期の人が入学した時と聞いています。私たちの時はトイレ改修中で、職員用を使用するようにと言われましたが、なるべく行かずにするようにしていたのを覚えています。

池田 なにしる受け入れ態勢がなかったのよ。先生も今まで男の生徒ばかりを相手にしてきたので、女生徒をどう扱っていくのか分からなかったみたいね。あの時代だから「問題が起きたらいけない」ということだけが頭にあったみたい。とにかく抑えて抑えて、という感じでした。一番の問題は進路指導がなかったこと。何でも男子と同じようにやりなさいという感じだったわ。

寺島 第1期生の先輩はクラスが2つに分かれたでしょう。お2人のクラスはすごく厳しくて、もう1つのクラスはとても自由で、ラブアフェアもあったとか。

浜野 私たちの担任は数学の荒井先生。福井だったか北陸の出身で、すごい信心深い方で、とても厳しかったわ。



池田 もう1つのクラスは物理の高柳先生で、とても自由で、とても自由で開けた人だった。そのクラスの女子は学校の中で男子と手をつないで歩いていったもの。その代わり、後になってみると、彼女らは波瀾万丈よね。私たちのクラスはみんな抑えられていたので、ただのおばさん。良妻賢母なら、まだいいんだけど…。

浜野 私のクラスのある女生徒は、欠席が長引いたら、家のポストが一杯になるほどのお手紙が入っていたんだって。もう1人は、上田の駅前男子に呼び出されて「あ



いびき」したき時に、お母さんがくつついできたという話もあったわ。

寺島 女子は修学旅行に行かない方がいいと言われたとか。

池田 私は行きませんでした。荒井先生は「いけない」とは言わなかったけど、暗に行かない方がいいみたいなの。でも、先生は何十年かたってクラス会にいらしたとき、「女生徒に適切な指導ができなくて申し訳なかった」と謝ったそうよ。後になって、もっと違った指導方法があったと思っただけでしょうね。

寺島 私が入学した当時の女子は3年生が2人、2年生が4人、1年生が6人で、女子が極めて少ない時代。心細かったけど、学校側は少しずつ対応を変えて、女性用トイレや更衣室をつくったりしたのは、やっとその辺ですね。クラブ活動で女性のサークルができたのは、その後でしたか。

水島 私たちのころは茶道同好会がありました。男子にも声をかけて入ってもらったけど、松尾祭の時にお茶をたてるなど細々とやっていました。このほか64期の藤巻禮子さんらがつくった女性合唱団もありました。でも、その後、なくなっちゃったんですよ、いつの間にか。

和氣 その後、私たち75期が再びつくったんですよ。音楽担当の永井先生に相談して吹奏楽部の練習の合間に音楽室を借りて練習し、文化祭の時に発表したんです。でも私が卒業して2、3年したら、再びなくなっちゃった。

水島 私たちの学年でさえ、うちの母は私の入学をすごく心配して、女性が上田高校に入学している人の家に行つて「大丈夫でしょうか」と相談していたのに、先輩方のお母さんはすごいなと思いますよ。

池田 私の妹も上田高校に入ったんです。東洋英和大学で英語を勉強して米国の大学に留学したのよ。米国人と結婚して向こうにいたんだけど、52歳の時、がんで死んじゃいました。すごく映画が好きで、ハリウッドに行つて映画の仕事に携わりたと言つて1人で渡米したんだけど、1ドル360円で航空運賃が高い時代だったので、貨客船に乗つて海を渡つたのよ。54期の前田喜美子さんも国際基督教大学（ICU）卒業後、英国航空のキャビンアテンダントになって、飛行機の中で知り合った米国人と結婚されました。

寺島 私も数年後に渡米しましたが、AF S制度の中で高校生として1年間ホストファミリーに置いてもらうという恵まれた環境で



した。英語の高橋恒夫先生に薦められて、男子2人と受験しましたが、どういいうわけか英語のできる人が落ちてしまい、帰りのバスの中で「女の方が楽だったんだな」と言われて。そんな時代でした。

留学中に厳寒の講堂に集まった上田高校生と米国留学先の高校生が、当時まだ珍しかった海底ケーブルの国際電話を通じて、

英語で交流したんです。その時に「よし、いつか自分も外国に出て何かやろう」と思ったんです。50代になって同級生と再会したら、大勢が海外出張したり赴任したりと、活躍していたんです。男子と一緒にだった面白さは、こんなふうに後々に効いてくる感じ。

池田 それは私たちも同感です。だんだんと年を重ねて今75歳になって、信州の各地を訪ねるクラス会に参加するんですが、それがとても楽しいの。同級生たちは率直で、さっぱりして話を聞いて視野が大きくてね。

浜野 私もそう思うわ。在学当時は討論したり意見交換したりはなかったけれど、身近なところで男性の物の考え方などを自然に知つたように思います。これには後々とても助けられたわ。

全員 同感（とうなずく）

寺島 男性も共学を経験しておられない先輩たちはずいぶん違いました。同窓会で体験させてもらいましたから…。初めて総会に出たら、染谷丘高校の方たちがいらしてた。

池田 染谷の生徒は「女の子」だったのよ。私たちはパンダじゃないけど「珍獣」と見られていたわ。

和氣 私たちの時は女子が88人でしたから、ちょうどいい感じでした。体育では女子ルールというのがあって、サッカーでは女子は手を使つていいことになっていました。他校の生徒が見に来て、笑うんですよ。

女子がサッカーボールを手を持って歩いてるから。でも女子がいる方が点が入りやすいという「お得感」もあったんですよ。

水島 私たちも、そうよ。バスケットは女子が入れると8点というルールがあったわ。「ボールを渡すから、ゴールの下に立っている」って言われました。柔道の授業もあったけど、男子が柔道をやっているとき、女子は3人で卓球をしていました。

寺島 私たちの時は家庭科の授業はなかったけど、和氣さんの時はありましたか。

和氣 ありました。4クラスずつ女子だけが集まって、女性の飯島先生が教えていました。

水島 女性が特別扱いされるのも嫌でしたね。「今日は女性だけで授業をします」と言つて、女性だけに話しかけて授業が終わつた先生もいました。

真山 皆さんは大学卒業後、社会に出て働いた経験はありますか。



和氣 私は3年半、電機メーカーの役員の秘書をしていました。それが終わつてからは家庭に入り、子育てをし、PTAをやつたり、地域でボランティアをやつたりしました。52歳になると、キャリアアウーマンで働いてきた人をうらやましく思うこともありますが、自分の人生も充実していたと思います。幸い上田高校の友だちがずっとつながっていて、男子からもメールが来るし、

PTAをやつたり、地域でボランティアをやつたりしました。52歳になると、キャリアアウーマンで働いてきた人をうらやましく思うこともありますが、自分の人生も充実していたと思います。幸い上田高校の友だちがずっとつながっていて、男子からもメールが来るし、

たくさんの方が財産として残っています。

水島 私はずっと働いていました。職業運



があつたのか、1つの仕事を辞めても常にいろんなところから声がかかり、拒まずにやっ

てきました。様々な職業を経験しましたよ。でも私にとつては1つ1つ大切な仕事であつたし、主人も「辞める」って言わなかったから、ありがたかったですね。同期の女性では薬剤師が多くて、みんな自立したいという気持ちがあつたと思いますね。ずっと独身の女性も何人もいます。

真山 卒業生に女性が増えましたが、同窓会に来る女性はまだまだ少ないのが実情です。女性の参加者を増やすには？

池田 でも、独身の人はともかく、結婚している人はある時期はだめですよ。子育てとか。それが終わると、親の介護とかで束縛されるケースもありますね。

寺島 逆に母の介護だけになった生活が苦しくなつて、同窓会に出るときは預けて私は助けられました。自由な場と感じたから。
水島 私はすぐくつらかった時、同窓会が主催したニカラグアの「マコーヤバント」の演奏会に声をかけてもらい、聴きに行つたんです。その時同窓生に会つて、つらい気分を変える元気をもらつて、よかつたなあと思ひました。

和氣 6年前に同窓会に参加した時、女性の参加が少なかったの、同期生4、5人

に電話をするなどして声をかけたんです。でも「いったん家庭に入ると、出るまで敷居が高いのよ」って言う人もいました。なんとか参加してもらいたいと、思っているんですが…。

寺島 関東同窓会をここまで育んできたのは、男性たちのよきボランティア精神だと思うの。女子卒業生が増えた結果、同窓会衰退などという結果になつては、悔いが残るじやありませんか。誰かの負担で会報を読むというところから一歩踏み出して、2000円の年会費をまず入れていただきたい。そして会に出てみて、女性たちには、こんなことをしてみたいと思うことを実現してほしいと思うの。参加されれば、ここが他所では得がたい場なのが感じられるでしょう。やり方も内容も、これまでとは違うものがきつと生まれる。12年かかわつた私は新しい参加者に期待しているんです、心から。

ここで54期の久昌貴代江さんが到着。

真山 早速ですが、久昌さんが上田高校に入つたきつかけは。



ことは無理な状況でしたが、当時、松尾高校定時制を卒業したばかりの兄に「いい先生が

いっぱいいるよ」と聞いて決めました。入つてみたら、女子はみんな進学を目指していたし、小説、映画、音楽など話題が進んで

いてカルチャーショックを受けました。特に女子更衣室で先輩や後輩とおしゃべりした中で「これからの女性は職業を持ち自立しなければいけない」と語り合つたことが印象に残っているわ。

卒業後は看護学校に進みました。45年ほど勤務し、後半は看護管理とか職場教育などに携わつてきました。今でも相談など、少しかかわつています。3人の男の子を保育所に預けながらの病院勤務だったので「子育てと職場の両立」が私自身にとつても、職場経営の上でも常に課題でした。女性が仕事を続けるということは大変難しい問題だけど、高校時代に「女性の職業」について深く考えるチャンスがあつたことが力になって乗り越えられたように思います。高校入学時、女子は10人だったけど、転校、休学、死亡などで卒業時には7人でした。今でも時々会つています。

寺島 54期は皆さん仲良くしていらつしやるのがいいですね。第15代会長を務められた前田喜美子さんもおられます。

久昌 同期で毎年「五四期会」の新年会を開いており、女性も多数参加しています。一昨年、同期の女性が軽井沢で会つたんですが、そのとき全員が山登りをしていることが分かつたんです。それじゃあ、今度一緒に登ろうということになって、去年、みんなでスイスのアルプスに行つてきました。54期の女性とそのご主人、友人の計8人が参加しましたが、とても楽しい旅行でした。(久昌さん持参の旅の写真集を拝見)

さらに70期の花岡千賀子さんも遅れて到着。東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県から飛行機で駆けつけてくれた。話題は自然と震災の話に。



岩手県のNPO法人「太平洋戦史館」の事務局長をしています。今日は2カ月に1度の病院の定期検診を兼ねて東京に来まし

た。まず、地震の話からしましょうか。あれから1カ月ちよつとたち、少し休んで日常を取り戻したいと思つていたんです。震災後5日目に寺島さんからお見舞いのはがきをいただき、「上手に休養しなさい」とあつたので、緊張が緩んで、うるうるしてしまいました。家は平泉の近くの、津波は来なかつたんですが、震度6の地震が2度あつて、洗面台がバキッと割れるなどの被害を受けています。半月後、津波で町長さんも亡くなつた大槌町にいる友だちが生きていると分かつて、ガソリンと衣類をかき集めて、彼女に会つてきたんです。大槌は津波の後、火災に覆われたので、焦げた臭い、腐敗した臭い、初めて体験する臭いでした。がれきの下には多数の行方不明者がいるのでしよう。身震いが止まりませんでした。

寺島 花岡さんとは2007年の菅平あずまや高原ホテルでの「女性同窓生」の集いでお会いしたんです。彼女のパートナー岩瀬宣輝さんには、寺島が30余年前に航空空



2007年に菅平のホテルで開かれた女性同窓生の集い

涉に出かけたパプアニューギニアでお世話になっていたことが分かって驚きました。花岡さんたちの「太平洋戦史館」が3年前に関西で遺品などの展示をされた折には、関西同窓会のメンバーも足を運んでくださったこともあったわ。

花岡 震災のとき、主人は遺骨収集でニューギニアに行っていて、私1人でした。でも、3年前にも水道が14日間止まる地震を経験しているので、2週間は絶対にサブイバルできるといって自信がありました。停電で真っ暗な状態の時は外からの情報が全くないので、不思議となんとか自分で乗り切れるんですね。でも、ライフラインが復旧すると、テレビにもものすごい映像が映るし、原発事故の映像も入ってきて頭の中がグジャグジャになってしまった。クタクタになっていた時におはがきをいただいて

「ちよつと、ひと休みしよう」と思ったんです。テレビで「頑張ろう、日本」なんて言っているけれど、「お願い、ちよつと休ませて」というのが本音ですね。そういうコマーションが出るたびに、テレビを消しちゃうんです。節電もできるしね。

全員 大変でしたね。ご苦労さま。

花岡 すいません。私、来たばかりでワーツと一気にしゃべってしまつて。どなたかに聞いてもらいたくて…。

水島 実は私は50年前から花岡さんのことを知っているんです。

花岡 えっ、50年前から？ 私は今57歳ですから、7歳の時からですか。

水島 私が小学校4年の時、あなたは小学校1年で、弟と同じクラスだったの。すごく優秀なお嬢さんで、弟がいつも「花岡千賀ちゃん」って言っていたのよ。家がすぐ近くで、中学も小学校も同じだったんです。

寺島 昨年上映の上田を舞台にした映画「サマーウォーズ」に出てきた家は、水島さんの家をモデルにしたと思つたわ。

水島 何となく実家の雰囲気もありましたけど、そんなことはないと思います。でもテレビで放映した「サマーウォーズ」はすごくカットしてあつて、上田高校の部分はほとんどカットされてしまいましたね。あの子どもの野球部のピッチャーで、最後に上田高校が甲子園出場を決めるんですが、その部分もカットされていて残念でした。

真山 話は尽きませんが、この辺で。お忙しいところ、ありがとうございました。

サケの遡上と千曲川の思い出

昨年秋、「上田にサケ遡上」のニュースが流れ、あちこちから喜びの声や千曲川の思い出などが寄せられました。その一端をご紹介します。

朝日新聞に上田に65年ぶりにサケが上

がったとの記事が掲載された。市役所に問い合わせたら、1カ月前に確認されたとのこと。これもうれしい自然の取り戻しと思われる。

小山比呂志(60期)

父は川漁師をしていたが、「昭和14年ごろまで秋になるとたくさんサケ、マスが上ってきた」と言っていた。やはり県境のダムが支障になっていたわけですね。

山邊光一(58期)

千曲川、しかも上田流域にサケが帰ってきたとはうれしい。子供時代、夏は千曲川が遊びの主戦場だった。はだしで浅瀬を歩いていると、足下にハヤ、ジンケンなどが入り込んできた。「さなげ」(探るの意?)といつて、石の下部、周りに両手を入れ、魚を手づかみして遊んだ。台風後の濁流が渦巻くなか、水をガブ飲みしながら、泳ぐ、というより流された。よくもおぼれずに生き残ったものと思う。

成田邦夫(56期)

川の力がよみがえりつつあるのでしよう。当日は上田漁業組合の皆さんと川魚料理専門店「鯉西」に集まり、千曲川の再生につながる自然回帰を喜び合った。

島田基正(62期)

父が家(紺屋町)の裏を流れる千曲川支流矢出沢川にサケが遡上していたと

語っていたのを思い出した。

小泉孝雄(49期)

千曲川で泳いでいて一度、おぼれそうになった。岸辺の石俵?があるところだった。杭が打ってあり、その下が渦を巻いていて、川がこんなにすごいとは知らなかった。水面下の大きめの石に、同じくらしいの石をぶつけてジンケンやハヤを気絶させて、浮かんできたのを手づかみした。懐かしい終戦後の夏の思い出。今、古希を半分過ぎても、千曲川、特に上田橋を通過すると往時が思い浮かぶ。

保坂利勝(51期)

90年前には上田で60・70トンものサケが獲れたという。自然のよみがえりほうれしい。生態学にレジリエンスという用語、概念がある。以前は農業にやられた害虫が復活、復讐するといった狭い意味に理解していたが、本来は環境の異変に耐えること、復活すること双方を含んだ概念。現在は心理学、教育学でも応用されている。ストレスにめげない人間、打たれ強い人間を育てる試みらしい。昔の自然がそのままよみがえることは困難であろう。それでも自然保護区を広げて人間の干渉の少ない空間を確保してやることは大事だと思う。

濱村邦夫(56期)

上田高校 NOW



私が高校教育課長を3年勤めました時期は、ちょうど第1期高校再編の終盤に当たつ

た。文武両道というところで、ますますご期待にお応えすべく頑張らねばと感じているところでございます。

この4月に学校長として着任いたしました小林一雄と申します。長野県教育委員会高校教育課前、学制服、手提げカバンに下



母校に復帰、精いっぱい努力 新校長に小林一雄氏(69期)

まず初めに、お礼でございます。110周年の記念行事におきましては、大変お世話になりました。教室へのエアコンの設置、合宿所の整備など、在校生の学習環境が格段に向上いたしました。文武両道というこ

ておりました。地域に出て、さまざまな意見をよくお聞きしながら進めさせていただくという大きな方針でございましたが、やはり県下のすべての学校が多く同窓生の思いに支えられているということとをあらためて感じました。この思いが自らのかけがいのない青年期と重なるものであり、その後の成長を育んだ核にあるのだということも教えられた気がします。

校である小学校とそれにつながる思い出に結びついたものとお聞きしました。上田高校も、比喩的に言えば一世紀をはるかに超える時間の流れを凝縮した形で存在すると新生にも式辞で申し上げたところでございます。歴史を大切に、上田高校で学べる喜びを師弟ともにかみしめて、邁進してまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくご支援ご協力いただきたいと思います。

上田高等学校長 小林一雄

「無言館」所蔵作品による 戦没画学生「祈りの絵」展



原田 新 「妹・千枝子の像」

戦没画学生の遺作を通して観る者誰もに何かを考えさせるあの塩田平の「無言館」所蔵する遺作、遺品 300 余点が横浜でご覧いただけます

5月26日(木)～6月14日(火)
横浜赤レンガ倉庫1号館
横浜市中区新港 1-1-1
TEL : 045-211-1515
開館時間 : 11:00 ~ 20:00
入場料 : 1000円(小中学生 500円)

無言館の映画も上映中
6月10日(金)まで : 新宿武蔵野館

三井住友海上火災保険株式会社 代理店
三井住友海上きらめき生命保険株式会社

株式会社 ハート・ワン保険サービス

取締役 田中一穂 (60期)

〒380-0888 長野県長野市上ヶ屋 2471-3376
TEL & FAX : 050-8686-0881
E-mail : f35540288kt@ngn.janis.or.jp

あなたを、
ひとりで、
死なせない。

そう遠くない、この先、
50万人が孤独死をし、
100万人以上が、
介護難民となる、この国。
地域がしっかり、つながって
支えられる仕組みを
作っています。

医療法人社団 ヒルデモア
常務理事 碓田 茂 (68期)



国公立大 210 人 東大 4 人、早慶 36 人

後期試験前日に大震災 避難所に宿泊した生徒も

東日本大震災が発生した3月11日は国公立大学後期試験の前日で、本校の3年生のうち約160人が受験の予定でした。地震直後から学級担任が生徒の安否確認をし、ほぼ全員と連絡がとれたのは午後10時ごろでした。

東北大学受験のために仙台にいた生徒は避難所で夜を過ごしました。移動中の新幹線の中で立ち往生した生徒や、東京でホテルにたどり着けず、駅や避難所で夜を明かした生徒もいました。

翌日の試験は中止となり、1月のセンター試験のみで選抜することになった大学も多く、最後まであきらめずに2カ月間の学習に取り組んできた本生にとっては、成果を出す機会が与えられない入試となりました。

しかし、被災した地域の受験生のことを思えば、全員が無事であったことをまず感謝しなければならぬのでしよう。

2011年入試の結果は
東京大学4人（うち現役1

人）、京都大学2人（2人）、国立医学部医学科7人（3人）など、国立全体では210人（122人）が合格し、私立大学では早稲田大学24人（5人）、慶應義塾大学12人（1人）、私立医学部医学科7人（1人）などとなっております。

全国的には、大学卒業後の就職を意識した難関大学志向が強まっていますが、本生も高い志望を掲げて挑戦する生徒が多い傾向です。

厳しい入試を通して、生徒たちは大学に合格するということだけにとどまらず、困難を乗り越える力をつけ、人間的に成長する機会にしていることに、これからの時代を切り開いていく可能性を感じさせてくれます。

同窓会の皆さまには「社会講座」「卒業生による進路講演会」などの行事をはじめ、物心両面において多大なご支援をいただいております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

進路指導主事

落合康隆

大学名	11年	10年	09年	大学名	11年	10年	09年	大学名	11年	10年	09年	大学名	11年	10年	09年	大学名	11年	10年	09年	
国立大学				京都	2			私立大学				成城	8	4	3	武蔵野	2		1	
帯広畜産	1			大阪	3	1		酪農学園			2	聖マリアンナ医科			1	明治	35	31	22	
北海道	2		3	神戸	1		2	東北薬科	1	1		専修	15	13	8	明治学院	17	6	8	
北海道教育	1	1		奈良教育				岩手医科		2		創価	7	4	7	明治薬科			5	
弘前			1	奈良女子			2	自治医科	1			大東文化	2	5		明星	4		1	
岩手			1	岡山	1			国際医療福祉	4	7		大正		1		立教	22	10	6	
東北	8	6	12	広島	1	1		群馬医療福祉		1		拓殖		1		早稲田	24	24	15	
宮城教育			1	九州	1			高崎健康福祉	1	1	3	玉川		3	4	麻布	2	1	1	
山形	1	4	2	福岡教育			1	埼玉医科		3	1	多摩美術		3	2	神奈川	2	7	2	
福島			1	国立大学 計	167	147	165	城西	2	3		中央	50	31	25	関東学院	1	1		
茨城	4	3	1	公立大学				獨協	11	8	4	津田塾	2	3	2	フェリス学院			1	
筑波	3	5	7	青森公立			1	獨協医科		2		帝京	5	3	2	横浜薬科			2	
宇都宮	1	1		宮城	1			文教	3	8	5	東海	8	3	5	新潟医療福祉			4	
群馬	2	7	5	茨城県立医療	2	1		目白		1		東京医科		1		新潟薬科	1		1	
埼玉	9	10	7	高崎経済	13	10	4	神田外国語	3	1		東京家政	1	2	2	金沢医科	1			
千葉	10	9	16	埼玉県立	1	2	3	聖徳			1	東京経済	1	3	6	北陸	1	2		
お茶の水女子	1	1		千葉県立保健医療	1	1	1	青山学院	18	11	17	東京工科		4		佐久	2	2	2	
電気通信	2	2	2	首都大学東京	10	9	6	亜細亜			2	東京工芸		2		長野			1	
東京	4	5	4	横浜市立	3	3	2	大妻女子	1	2		東京歯科		1		諏訪東京理科	1		1	
東京医科歯科			2	神奈川県立保健福祉			1	桜美林		1	3	東京女子	6	6	6	松本歯科	1			
東京外国語	3		1	新潟県立	2			学習院	1	2	7	東京女子医科		1		健康科学			1	
東京海洋	3	1		新潟県立看護			1	北里	7	7	8	東京造形		1		岐阜聖徳学園			1	
東京学芸	11	5	4	福井県立	1			共立女子	2	2	1	東京電機	5	2	2	岐阜医療科学	2			
東京工業		1		都留文科	2	1	4	杏林	6	2	3	東京農業	4	3	5	愛知医科			1	
東京農工	1		1	山梨県立	1	1		慶應義塾	12	21	13	東京薬科	2	3	2	中京			1	
一橋		1	3	長野県看護	1			工学院	2	2	1	東京理科	31	15	15	名古屋外国語			1	
横浜国立	7	5	8	岐阜薬科			1	國學院	3	4	4	東邦	5	4	4	名城	2	1		
上越教育	1			静岡県立			2	國際基督教	2	2		東洋	7	7	9	京都産業	2			
新潟	7	9	2	愛知県立	1		1	国士館			2	日本	19	26	15	京都女子	5			
富山	4	7	4	愛知県立芸術			1	駒澤	8	7	5	日本医科	1			同志社	3	3	4	
金沢	10	12	10	名古屋市立	1			実践女子	2		2	日本歯科		1		同志社女子	3	1		
福井	1		1	滋賀県立	1			芝浦工業	16	14	8	日本獣医生命科学	2			佛教			1	
山梨	3	3	1	奈良県立	2			順天堂	3	3	1	日本女子	3	3	1	立命館	27	10	15	
信州	48	35	53	京都府立	2	1	1	上智	9	1	6	文化女子	1			龍谷	2			
静岡	4	5	3	大阪府立			2	昭和	3	2	2	法政	24	25	16	関西	3	1	1	
名古屋	5	4	4	神戸市外国語			1	昭和女子			4	2	星薬科	2	3	1	近畿			1
名古屋工業		1	1	広島市立			1	昭和薬科	1	2		武蔵	8	2	2	関西学院	4	1	1	
三重		1		公立大学 計	43	36	29	女子栄養	1	1		東京都市		1	1	福岡	1	1		
滋賀	1			国公立大学 計	210	183	194	女子美術	1	2		武蔵野音楽	1			その他	7	11	26	
								成蹊	7	3	6	武蔵野美術	2	2	7	私立大学 計	530	457	371	



上田高校 NOW

1年生

自ら考え、行動を！ 325人入学

新年度に向けての準備最中の3月11日、上田高校の校舎が大きく揺れました。揺れの大きさが尋常ではなかったばかりでなく、揺れの長さも想像以上でした。この地震が東北方を襲った東日本大震災であったことを知ったのは、間もなくのことでした。今回被災された皆さまに心からのお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復旧と復興を心から祈り申し上げます。

さて私たち担任団は、昨年の12月末に組織されて以来、自らの希望する進路を実現できることはもちろん、社会に寄与できる人間に成長することを願っています。具体的な指導方針など、どう新入生と向き合うかを考えてまいりました。



新入生との対面式

力に基づき行動できる人間に成長できることが何より大切と考えました。そこで「自ら考え行動できる112期生」を指導目標に掲げ、4月6日に陽春の日差しの下、325人の新入生を古城の門に迎え入れました。「至高の望」をしっかり胸に刻み、自己の新たな発見を重ねながら、互いが切磋琢磨できる集団として大きな飛躍を遂げられるよう、担任団としてさらに一層の支援をしまいたいと考えております。

「自らを大切にし、相手（仲間）を大切にす」を日々の指導内容としております。生徒たちが自律の精神の下、周囲にも目を向けることができる優しさを持ちながら、高校生活を送れることを願っております。

今年9月には、社会講座で諸先

2年生

移動教室に戸惑う姿も

平和学習で無言館など訪問へ

輩方にお教をいただく機会が予定されています。今後さまざまな面でご支援をいただくことも多い

と思いますが、よろしくお願い申し上げます。

1学年主任 丸山省三

2011年度の2学年は4月5日、始業式・着任式・翌日の入学式の式場作りと、後のロングホールルーム（LHR）での講座別個人の時割表作成からスタートしました。新しいHRに入って、また新たな気持ちで高校生活を迎えた生徒も多かったと思われま

スローガンに掲げて2年目、無用にけん制し合うわけではなく、互いに能力を認め合い、羨望の要素を持つ人にはその領域に近づこうと努力する、そんな姿勢を保ち続けることを期待します。

2学年の生徒たちにとって最も大きな変化は、すべての授業が講座単位であり、ほぼ全ての授業が教室移動を要することです。4月当初の学級日誌には、「移動教室疲れます」といった感想が多く見受けられました。中旬ごろには、だいぶ慣れてきたようで、移動もスムーズにできるようになりました。将来の大学生活を想定すれば、今のうちから慣れてしまいう利点は大きく考えられます。

さて、講座単位の授業の様子を紹介すると、生徒たちは1年間なじんだ顔ぶれが変わり、良い意味での緊張感が漂っているようです。「共に高め合う111期」を

4月下旬には、総合学習（平和学習）で、無言館、松代象山地下壕、長野県立歴史館などを見学し、10月の沖繩への修学旅行をより充実したものにしようと今から準備をしているところです。

在校生がより良い環境で学校生活を全うできるよう平素からご支援くださる同窓会諸氏に心より感謝申し上げます。2学年の近況報告とさせていただきます。

2学年主任 南澤茂徳

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>



3年生 被災者支援で募金活動 昨年10月、沖縄に修学旅行

3月11日の東日本大震災とその後
の原発事故は、生徒たちの心に大きな衝撃を与えました。震災直後、生徒会執行部が中心になり、募金活動を実行し、集まった義援金7万2760円を日本赤十字社を通じて被災された方々に送りました。

対面式では生徒会長の発案で、震災で犠牲になった方々の冥福を祈り、黙とうしました。松尾祭でも、震災関連の企画が計画されています。生徒たちは、いま自分たちにできることは何かを考え、行動を始めています。生徒たちの姿は見事でした。

さて、昨年10月の沖縄修学旅行は「平和を考える」「沖縄の歴史や文化に触れる」を目的に実施されました。4日間天候に恵まれ、充実した研修ができました。

体験。気候や文化は異なっても、長野県と深いつながりのある沖縄。映像や活字ではなく、自分で触れ、確かめた戦跡や米軍基地、沖縄の文化。

旅行後、生徒は「もう少しゆとりある日程でじっくり見学しなかった」「ぜひまた自分でも来たい」「みんなとゆっくり話ができ、思い出づくりができた」という感想を話してくれました。

新学期になり、新たな班員を迎えた班活動も一段と熱が入っています。放課後、校内に歌声や楽器の音が響き、体育館やグラウンドでは若さあふれるプレーが見られます。一方、学習室では何人かの生徒が、始業前や放課後、そして土日も机に向かっています。それぞれが目標に向かって進んでいます。

高校最後の1年、今までの先輩同様、何事にも全力で取り組んできた生徒たちです。持てる力を思う存分発揮してくれる、そんな予感がしています。

3学年主任 竹内正典

「校庭」を走る67人 文武両道で甲子園目指す

同窓会の皆さまには、平素より硬式野球班の活動に温かいご声援とご援助をたまわり、誠にありがとうございます。野球班はOBである西沢俊一監督(82期)の下、現在67人の班員が甲子園を目指して毎日の練習に取り組んでいます。

思い浮かべてみてください、あの「校庭」に67人が走る姿を。しかも、校庭ではハンドボール班も練習していますので、実際には100人ほどの生徒がいます。あわせて、本校の校是である「文武両道」を達成すべく、「7時にはグラウンドを出る」ことを心がけています。

その限られた空間と時間のなかで、他のチームが4時間かけて行う内容を2時間ですべてこなすためにどうしたらよいかを考えます。それは突き詰めると、守備練習では「ボールを後ろにそらさない」「相手の胸に正確に速いボールを投げる」、打撃練習では「ストライクを投げる」「ストライクを打つ」、そして「練習中は常に全力で走る」ことになります。そんな息つく間

もない練習をこなし、くたくたで帰っても自分の弁当箱を洗い、宿題もバットスイングも行い、授業は左右対称の姿勢を崩さずにのめり込める日常の構築を目指しています。

今年は「人のために野球をやる」ということも決めました。83回選抜大会準優勝の九州国際大付の高城俊人主将は「謙虚に臨まなければ、僕たちの思いは被災地に届かない」と述べています。冬は必ず春となり、そして「あつい夏」がおとずれます。その「あつい夏」の主役となって、人のために白球を追うことができれば、チームの目標に掲げた「長野県No.1」を達成することができますと思います。

地区大会優勝旗、北信越県大会優勝旗、選手権優勝旗、長野県には手にすることができ3本の旗があります。この「旗3本」を目指し、「見ずや誉れのこの旗を永く我が手に保たなむ」と高らかに凱歌が歌えるよう、チーム一丸となって頑張りますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

野球部部长 加藤尚也(78期)

証券アナリスト基礎講座

申込受付中

個人賛助会員

投資に興味がある方に最適な

学習しやすい初級レベル通信講座!

—コンパクトなテキスト(2分冊)による自学自習を補完する

演習問題も充実— 受講料:15,000円

お問い合わせ:03-3666-1511(kiso@saa.or.jp)

会員の特典が多数あります!

証券アナリストジャーナルの毎月送付、会社説明会(無料)・講演会・セミナー(会員割引価格)の参加など。

年会費:18,000円以上(満65歳以上の方は、12,000円)

お問い合わせ:03-3666-1411(member@saa.or.jp)



公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (59期 萩原清人)

戦時の思い出 絆深める

43期A組が毎年同級会

43期生が1963年、戦後を生きてきて一番の宝物は中学の5年間ともに過ごした同期生だと、有志がガリ版の案内状で同期会の開催を呼びかけて集まったのが最初である。第1回は15人、2回目からは上田を離れた同期生にも呼びかけ、毎年秋に30〜40人集まったが、加齢とともに出席者は減ってきたため、その後はA組の同級会として別所温泉「つるや」で継続。昨年は16人が集り旧交を温めた。A組は卒業時50人。それから67年もたつて出席者16人。幹事



別所温泉「つるや」に集まった同級生

冥利に尽きるところに思っている。この絆のもとには、戦局が厳しさを増した1943年（昭和18年）に予科練に級友50人の中から10人が志願したことだろう。この年の夏、3年生以上が講堂に急きよ集められ、校長から「戦局誠に厳しく貴君たちの奮起を促す」と、海軍飛行予科練習生を募集する軍令部からの通達を告げられ、A組がダントツの志願者を出した。全員合格して、その年の12月1日、航空隊に入隊した。終戦になり幸い1人の戦死者もなく全員復員したが、みんな熾烈な軍隊生活を経験した。これがクラスの団結の原因であろう。

また、まとまりのよい例として次の2点を挙げておきたい。

一、クラスメートの村上博優・龍洞院前住職は、中国寧波の天竜寺を訪ねて同市仏教協会と親交を重ね、天竜寺に日本曹洞宗として道元禅師の記念碑を建立。また中国人の身元引請け人になって日中親善に尽くしてきた。2004年には、寧波市仏教協会から村上和尚訪中100回と80歳を祝う慶祝

会に招請を受け出席。これを記念して級友有志が資金を出し合い、龍洞院の山門に寧波市から贈られた掛け軸の詩を刻した自然石の記念碑を05年に建立した。

二、06年には全員が80歳になつたのを記念し、33人がそれぞれの思い出をつづった文集「絆」を作成し各人に配布した。

これからも同級会は毎年続けると同級生全員が同じ思いを抱いている。幹事 秋山袈裟男

思えば遠くへ来たもんだ

関東五四期会新年会に50人

関東五四期会は2月9日、「ホテル・フロラシオン青山」で新年会を開催し、会員46人と本部から山口幹事ら4人の計50人が参集した。今年には卒業55周年に当たり、この1年の間に会員2人の物故者もあつたが、市河富弘、倉島彰、馬場武彦の3世話人の努力もあつ

て、昨年を2割も上回る参加者があつた。

第1部の講演会は、同期の元NHK放送研修センター理事長の黒川次郎さんが「地デジで何が変わるか? テレビの60年」について話してくれた。予定では今年の7月24日をもって地上・BSともにアナログ放送は停止され、デジタル放送に移行するが、果たしてそれまでにすべての世帯でデジタル受像機への買い換えができるのか必ずしも楽観できない状況にあること。しかし、デジタル移行は世界各国で進んでおり、

日米欧3方式に分かれているが、南米諸国では日本方式が採用されていること。今後デジタル移行によってますます「放送」と「通信」の境界がなくなっていくなかで「放送」は生き残れるのか。iPadなど最近発展の著しい携帯端末向けを含む多様な「通信」サービスのなかに既存の「放送」は埋没してしまふのではないか。

一方、大型画面のデジタル・ハイビジョンTVがネットと結びつくことにより、かつての「お茶の間」のテレビのように家族みんなが集まる中核となり得るといふ放送界の期待があることなど、時宜を得、持ち時間がいくらあつても足りないほど豊富な内容で、会場から万雷の拍手が寄せられた。

第2部の懇親会は、本部から母校創立110周年記念行事への寄付に対する謝意、「日本一の兵・真田幸村公」のNHK大河ドラマ放映実現署名の再要請、10月のエクスンプ軽井沢における卒業55周年記念大会の開催案内などがあつた後、今年も同期生の岡崎酒造の「亀齢・生」が各テーブルに配られて宴会が始まった。55年を語るに2時間は余りにも短い時間であつたが、午後5時、別れを惜しみ再会を約して、お開きとなった。



査掛文哉(54期)



中山道69次を歩く(5)

中間地点から大湫宿まで

中山道の旅は、第13回から、『中山道の歩き方』(学習研究社刊)の企画・編集をした同期生、清水淳郎さんが加わったので、案内、解説付きで一層楽しくなった。

第14回は11月27日、原野駅から中山道の中間地点を目指す。雪化粧した木曾駒ヶ岳が美しい。「中山道東西中間之地」の碑には、江戸へ六十七里二十八町とある。栗本集落を過ぎ、しばらく国道を歩くと第37次・福島宿入口。福島関所が再建されている。宿場の中心部は昭和の大火で焼失したが、焼けなかった上ノ段には旅籠屋、商家、水場などが残っている。

上松宿への道中には、有名な難



雪が残る馬籠峠頂上

所、木曾の棧跡があるが、歩道の無い国道で、歩くのは危険とのことからバスを利用した。上松宿には尾張藩の材木役所が置かれ、木材の集散地であった。寝覚ノ床の見物客もあり、にぎわったようだ。寝覚ノ床に隣接したホテルに泊り、温泉で旅の疲れを癒やした。

翌朝、寝覚ノ床を見物。静寂に包まれた碧い淵、灰白色の花崗岩が碧い水に映り、何とも美しい。2⁺ほど行くと、広重の絵にもなった小野の滝。明治になって、滝の上に鉄道を通してしまったのが惜しまれる。

倉本を過ぎると、旧道はほとんどなく、国道を歩いて須原宿へ。大木をくり抜いた水舟があちこちに置かれ、露伴、子規の碑が立てられ宿場の風情が今も残る。

第15回は2011年最初の旅。3月26日、第40次・野尻宿から三留野宿へ。樹齢数百年の本陣の枝垂れ梅がすばらしい。木曾川に架かる桃介橋(国重文)を渡ってみてから、妻籠宿への山道に入る。

妻籠宿は昭和40年代から歴史的景観を守ることに取り組んできた

ので、本陣(復元)、脇本陣をはじめとして往時の宿場の町並みが良く保存されている。旧旅籠・松代屋に泊り、翌日、雪の残る山道を馬籠宿に向かった。馬籠峠を過ぎると、目の前が開けて、恵那山が展望できる。展望台には、旧山口村が岐阜県に越県合併した記念碑が立てられている。

馬籠宿は坂の宿場、中津川・美濃の国が見渡せる位置にある。藤村の生家、本陣は明治の大火で焼け、祖父母の隠居所と井戸が焼け残っている。

落合宿への道は、十曲峠の下り道、約1⁺も続く石畳の道でひざがガクガクしてしまった。落合宿では、加賀藩から贈られたという本陣の門と、しゃちほこが付いた母屋が威容を誇っていた。

第16回は4月23日、第45次・中津川宿へ。幕末、桂小五郎が潜んでいたという料亭が今も残り、資料館には、幕末の人物往来を記録した本陣文書が残っている。

大井宿は江戸と京の間の戦略的要衝にあり、六力所に枅形が造られていた。枅形にある旧旅籠・角屋に宿泊。翌日、西行塚、十三峠を越えて大湫宿へ到達。山間の静かな宿場で樹齢1300年の大杉が迎えてくれた。

清水計枝(64期)

連綿と続く「凶南会」

田中小出身の同窓生の会

ふる里の信州に帰った時、周りの山々や木々と出会えるのは何とも言えません。千曲川の流れる石ころも昔と変わっているようですが、何か心をほっとさせてくれます。烏帽子や浅間山は昔のままです。浅間山の稜線が右に流れるのを見ると昔に帰ることができません。

私が生まれた所は海野宿の西の外れで大屋駅に近いところです。学んだ小学校は田中小学校。現在の東御市にあります。

東御市の教育構想は「あいさつをしよう・本を読もう・汗を流そう・テレビのスイッチを切ろう」。思わずエールを送りたくくなります。その田中小学校を出て上田高校に入学した者の集まりがあり、「凶南会」という名が付いています。

凶南会には、なかなかの意味があります。広辞苑には凶南とは鵬が南方に向かって翼をひろげて遠征を試みることを。転じて大事業を企てることとあります。その凶南会が上田松尾高校

1年の時に田中小学校の家庭科室で開かれ、先輩にいろいろなことを教えていただきました。思い出すことはY歌を歌ったこと、ストープの上のヤカンに酒を入れて、その酒をみんなと飲んだことです。

それから記念写真も撮りました。村の写真屋さんには誰が手配したのでしょうか。全員、詰め襟の学生服をきちんと着こんでいます。小学校の先生は一度も教室をのぞきに来ませんでした。この黙認は後の私たちの成長につながっています。

1982年に東京で「関東凶南会」と名付けて開かれてから、毎年開催されています。今年は30回目を迎えられるそうです。

第1回の案内状が手許にあります。世話人の3人は故人になつています。93年には20期の市村先輩が出席してくださいました。出席者は多いときは30人を越えていましたが、年々少なくなり昨年は12人でした。

宮坂幸雄(57期)



Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr.Children
- ゆず
- BUMP OF CHICKEN
- ケツメイシ
- JAY'ED
- 湘南乃風

株式会社 トイズファクトリー
名誉会長 井出 孝光 (61期)

新たな教育システムの創造

松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

医科系大学特進コース・松実メディカル高等予備校

医学部進学・難関大学進学の為の特別コース

松実国際高等学園 (認可申請中)

世界のリーダーを育成する国際高等学校

(社) ISM 教育総合研究所

理事長・学園長 松井 石根 (60期)

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された地域の皆様、そのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

まつみこうとうがくえん

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
<http://www.matsumi-gakuen.net>

Outsourcingの知識集団

保険会社の内部監査請負・FC組織のFranchiseeの内部監査・医療法人のConsultation

株式会社 fellow

取締役社長 古畑 克巳 (69期)

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-19-4 K S 司町ビル3F

TEL 03-5283-7225

<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

FAX 03-5283-7226



社会医療法人 恵仁会

理事長 黒澤 一也

常務理事 黒澤 美那子 (60期)

社会医療法人 恵仁会は
命を大切にし
地域の皆さまの生活を支える
保健・医療・福祉を目指します

<http://www.keijinnet.or.jp>

〒385-0051 長野県佐久市中込3-15-6

TEL 0267-64-1700 FAX 0267-64-1719

E-mail info@keijinnet.or.jp

DKC

第一会計コンサルタント Daiichi Kaikei Consultant

お客様の立場で企業
経営をトータルに
バックアップします

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-46-3 CIMA100ビル5F

TEL 03-5992-4981(代表) FAX 03-5992-5090

URL <http://www.dkc-g.co.jp> E-mail kubo@dkc-g.co.jp

代表取締役

久保 柳哉 (60期)



2010年度会務報告案

(2010年4月1日～11年3月31日)

▼第49回総会・懇親会

2010年7月3日に如水会館で開催し、225人が参加。宮澤泰正氏(84期)による講演「私たちの生活と海洋の思わぬつながり」と、窪田健志氏(99期)と仲間たちによるマリンバ演奏が行われた。会費は初の値下げを行い、6000円とした。

▼「サマーウォーズ」上映会

10年4月10日に一ツ橋ホールで開催。細田守監督も特別出演し、映画の舞台を上田にした経緯など裏話をトークショーで披露した。参加者は300人。

▼新年会

11年1月20日に日本教育会館で開催し、103人が参加。上田染谷丘高出身の真打三遊亭鬼丸師匠の軽妙な落語を楽しんだ。

▼会報

第80号を5月に、第81号を1月に発行した。

▼年会費納入状況

新規に年会費を納入した会員が増加し、前年並びに年度予算を100万円以上上回った。前年実施した住所調査や、財務健全化のためやむを得ず長期未納会員への会報送付を停止するとの予告の効果が表れたとみられる。

▼寄付金、広告収入

寄付金は上映会に特化した17万円を除いても、好調だった前年並みを維持。広告収入も前年、予算を20万円以上上回り、当会運営を支える柱になりつつある。

▼その他

母校社会講座への講師派遣、年2回のゴルフコンペ実施、本部や各支部総会などに出席。また、長野県高校同窓会東京連合会の副会長(東信地区会長)に栗山幹事長が就任。

2011年度会務計画案

(2011年4月1日～12年3月31日)

▼第50回総会・懇親会

2011年7月3日(日)に如水会館で開催、実行委員最年長の64期が中心になって企画運営を実施。

▼会報

第82号を6月初旬に総会直前号として発行、50回を迎える総会を記念して、24ページ建ての特大号とする。第83号は年末に発行。

▼ゴルフコンペ

震災の影響があり、春の会は中止とする。秋は例年通り実施。

▼年会費納入状況の改善

一人一人の会員に納めてもらう年会費が当会活動を支える大切な源泉であることを、あらためて考えてもらえるようなキャンペーンを引き続き実施。昨年度予告した長期未納会員への会報送付停止は逐次、実施を開始する。

▼母校・本部などとの交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式などへの出席、上田本部、他支部の総会への出席。

▼他団体との交流

県高校東京同窓連の役員当番校として、その活動に積極的に関与する。

▼新執行体制の円滑な立ち上げ

役員が大幅に入れ替わるため、その体制移行と、新機軸の企画、立ち上げを円滑に行う。

2010年(平成22年)度決算報告案 (2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	1,344,775	1,344,775	0	大会費	1,260,000	1,204,158	-55,842
大会会費収入	1,260,000	1,298,000	38,000	会報費	1,750,000	2,153,201	403,201
会報広告料	500,000	734,000	234,000	交通費	160,000	209,480	49,480
年会費収入	2,100,000	3,366,000	1,266,000	通信費	80,000	66,053	-13,947
会議費収入	750,000	867,000	117,000	会議費	1,070,000	1,274,883	204,883
寄付金収入	670,000	821,782	151,782	渉外費	200,000	337,304	137,304
雑収入	200,000	183,000	-17,000	印刷費	150,000	11,370	-138,630
受取利息収入	0	10	10	事務費	750,000	915,498	165,498
(小計)	5,480,000	7,269,792	1,789,792	雑費	60,000	86,080	26,080
運営基金利息繰入	0	0	0	(小計)	5,480,000	6,258,027	778,027
合計	6,824,775	8,614,567	1,789,792	次期繰越金	1,344,775	2,356,540	1,011,765
				合計	6,824,775	8,614,567	1,789,792

2011年(平成23年)度予算案 (2011年4月1日～2012年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	23年度予算	22年度決算	増減	科目	23年度予算	22年度決算	増減
前期繰越金	2,356,540	1,344,775	1,011,765	大会費	1,350,000	1,204,158	145,842
大会会費収入	1,400,000	1,298,000	102,000	会報費	2,050,000	2,153,201	-103,201
会報広告料	600,000	734,000	-134,000	交通費	200,000	209,480	-9,480
年会費収入	2,300,000	3,366,000	-1,066,000	通信費	80,000	66,053	13,947
会議費収入	700,000	867,000	-167,000	会議費	900,000	1,274,883	-374,883
寄付金収入	700,000	821,782	-121,782	渉外費	320,000	337,304	-17,304
雑収入	200,000	183,000	17,000	印刷費	190,000	11,370	178,630
受取利息収入	0	10	-10	事務費	750,000	915,498	-165,498
(小計)	5,900,000	7,269,792	-1,369,792	雑費	60,000	86,080	-26,080
運営基金利息繰入	0	0	0	(小計)	5,900,000	6,258,027	-358,027
合計	8,256,540	8,614,567	-358,027	次期繰越金	2,356,540	2,356,540	0
				合計	8,256,540	8,614,567	-358,027

運営基金特別勘定 (2011.3.31現在)

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	10,190,000	220,000	10,410,000
同利息	2,505,098	22,012	2,527,110
利息一般会計繰入	-1,700,000	0	-1,700,000
合計	10,995,098	242,012	11,237,110

(単位:円)
 普通預金:三井住友銀行
 郵便振替:麹町郵便局
 定期預金:三井住友銀行

一般会計・特別会計総括表 (2011.3.31現在)

科目	金額	科目	金額
現金	2,226,622	次期繰越金	2,356,540
普通預金	100,557		
郵便振替	1,615,673		
特別会計から一時流用	-1,586,312		
<運営基金用>			
定額貯金	5,220,176	運営基金	11,237,110
定期預金	4,425,029		
普通預金	5,593		
一般会計へ一時流用	1,586,312		
合計	13,593,650	合計	13,593,650



(左ページからの続き)

桑原恒雄	2013	関 徹	2010	馬場裕三	2010	松井石根	2012	62期	上条和祥	2012	竹内中和	2011	寺沢靖雄	2010	手塚 茂	2018	
小泉義博	10	高橋福幸	11	樋口忠夫	10	松木 強	14	青柳健次	2013	神林 森	13	田中耕一	15	仲澤 正	14	松本哲夫	11
小島士郎	12	滝沢信夫	14	藤原秀臣	14	松林純夫	16	秋田 勇	15	川村恭司	10	塚田高明	11	中村宣夫	11	丸山博見	17
小島吉男	11	滝澤一彦	13	本郷達郎	13	丸山久勝	14	浅井保雄	12	北沢啓雄	14	辻 佐知子	12	中山正光	11	水島良子	11
近藤郁雄	13	田中 剛	12	町田克二	12	武藤義勝	13	有賀幾夫	11	木村公平	11	直井隆徳	11	成澤文和	10	村越 進	11
近藤正輝	13	手塚洋兵	10	松井亮一	14	村田正男	10	若井重一	22	小林諒一	14	永井信介	15	成澤方記	10	山下一雄	14
清水安衛	10	寺島知恵子	13	水出清仁	14	森田英明	11	太田和治	10	小林悠一	19	中沢勝義	10	西澤省悟	13	山本修士	11
清水康弘	13	寺島紘士	13	宮島健治	14	両角 聡	11	小川朝行	13	小林正則	11	中西載慶	13	西村賢治	12	68期	
白倉憲二	12	中島勇司	12	森 正夫	10	矢島邦彦	11	片山登喜男	11	佐伯謹吾	13	成沢広行	10	馬場和幸	13	石垣洋子	12
鈴木芳枝	15	中島秀忠	12	柳沢建夫	14	安間 襄	15	片山隆行	13	塩沢清文	10	野村 一	11	林 長人	10	稲寺 隆	11
関 行裕	11	中村 敏	11	柳沢英之	10	柳沢 厚	13	川上千秋	14	関田正幸	11	橋詰 修	10	原田義則	14	井上明美	23
高木佳年	15	中村国武	15	柳澤喜明	16	山岸憲雄	12	木内和宣	14	高寺 学	10	樋村明久	10	半田俊明	10	碓田 茂	16
滝澤紀夫	10	西澤益男	14	山浦武彰	10	山岸文明	12	北村克昭	14	滝沢鐵夫	15	平林正明	10	深町美由	12	太田康夫	14
滝澤文雄	11	波田野 浩	13	山口元彦	10	山崎裕二	10	栗山正雄	12	武井長久	15	藤巻禮子	10	保屋野良治	10	織田辰郎	14
竹内 昭	12	林 嘉市	16	山崎勝二	11	山本哲之	16	小泉邦夫	10	竹内伍郎	14	松高賢一	13	牧野 泉	10	尾山孝男	10
田沢雄二郎	12	林 隆男	10	山本政道	14	渡辺俊彦	12	甲田充彦	10	多田圭吾	14	宮坂信之	11	牧野泰晴	10	金子元昭	12
田村義昭	20	藤巻郁雄	10	60期		渡辺達三	11	児玉一江	10	田中 稔	12	宮坂眞実	14	丸山隆平	10	工藤敏夫	14
土屋信雄	14	星野和俊	13	池田 清	11	小林美智子	14	小林直樹	10	田中 正	10	宮澤康元	11	丸山敏明	10	甲田 廣	10
戸塚英雄	10	堀 芳恵	10	伊藤正俊	11	新井袈裟光	13	小林直樹	10	田中将揮	14	宮下明子	11	丸山暢久	11	小林 誠	12
中澤啓司	13	堀内 昭	14	井上 茂	11	有坂猛三	13	小林圭一	11	角田玲子	16	宮原司郎	10	緑川政志	10	小林照明	14
西尾紀一郎	19	本田祥治	15	今井勇雄	11	飯野栖子	11	小山平六	14	中沢秀夫	17	村居次雄	13	宮川恵三	11	小山 実	10
野田晃弘	12	三井恵雄	14	岩下征二	10	池田 稔	15	斎藤美敏	14	中嶋 誠	10	柳沢信義	13	宮沢憲一	10	斎藤晴男	10
箱山 雍	23	宮川克彦	18	上原惇子	11	市川武伸	11	坂口典和	11	中澤三彦	10	柳田 稔	10	宮原 豊	18	塩野文雄	12
畑 勲	12	宮下秀久	14	大池高保	10	井出孝光	13	坂本喜祐	14	成澤和彦	29	村山幸男	10	藪原伸剛	18	芝間文剛	18
馬場健一	13	宮原清明	13	大草 進	13	井上 剛	12	佐藤澄江	15	西沢文昭	14	山浦ひろみ	11	森 則雄	11	田中秀喜	11
保科政男	11	宮本忠昭	16	大橋邦夫	11	内山澄孝	11	塩入功三	11	西村耕三	11	山本淳一	11	柳沢光美	11	土屋耕太郎	16
堀 英毅	12	百瀬和紀	18	荻原武仁	11	大井 剛	10	清水輝夫	11	濱谷幸夫	10	65期		柳沢賢次	10	中川彰雄	14
堀内 修	17	森 邦夫	13	尾上朝子	13	大草猛生	12	正村真治	12	林 壮治	15	赤尾晴夫	11	山浦陽士	11	中島ひとり	15
本田 健	11	矢嶋瑞夫	15	風間文彦	11	大沢裕吉	13	白井宏和	13	平林善夫	14	池田恵一	11	山浦敬文	12	西沢 悟	13
松木 功	17	山岸宜公	10	上村正実	10	大澤義隆	12	春原公人	10	深沢直行	14	岩崎和雄	12	山浦信幸	10	野口 徹	10
宮坂幸雄	11	山邊光一	11	北原英孝	12	荻原隆治	14	関 祥行	16	藤川 昇	13	岩崎ひとみ	12	山辺良樹	11	松山研治	15
宮下廣勝	15	吉池千冬	10	沓掛行徳	15	奥村喜美子	10	高梨奉男	13	保坂証司	13	上原 昇	11	横関洋一	10	丸山洋一	12
望月英明	11	吉池正樹	13	久保柳哉	14	尾和正暉	22	高松郁夫	13	保屋野美智子	12	内堀 信	13	66期		丸山喜美夫	10
山浦 武	14	依田康德	15	黒澤博身	14	加賀美徳行	16	滝澤 淳	10	松山 久	11	宇野直幸	11	荒井秀人	10	宮川俊晴	12
山崎紀典	10	59期		甲田 奏	11	笠井徳爾	14	滝沢健三	10	水野 久	11	岡田 修	10	石井千里	10	宮坂邦夫	11
山崎逸雄	17	荒井理夫	11	小関夏子	10	岸井連二	12	田口象二郎	11	宮入從誠	11	荻久保一男	14	石井茂夫	11	宮崎直之	11
横沢武久	14	有賀勝雄	14	児玉八十三	16	岸田 勇	10	田島善光	16	宮島正紀	14	折井正博	14	今井郷子	11	宮沢和幸	14
渡辺孝幸	14	池内正直	14	小林秀芳	12	沓掛 忠	13	土屋和猛	12	矢島正晴	11	柿崎良男	13	大石雄司	12	山岸 馨	10
渡辺浩通	13	池田周次	10	小松有也	13	久保田敬雄	12	永井正夫	14	山浦成子	11	金井 猛	10	鬼久保潤一	11	山本近雄	11
渡辺静雄	12	石崎吉宏	14	小宮山 毅	10	栗谷川 洋	10	中澤裕治	16	山浦 衛	13	菊地暁子	12	北澤英男	12	横山佐苗	10
58期		井出政義	14	小山比呂志	10	小林宣光	14	中村房子	16	山浦善樹	11	掛掛文夫	14	北島良男	11	69期	
青木 淳	14	指宿淑子	10	齊藤建次	10	小山忠顕	14	中村眞一	14	山本寿美子	14	栗林みよ子	12	小林周一	11	池田有美子	11
赤池三男	11	岩崎忠夫	10	塩川英世	11	小山 満	11	中山君平	11	若林英也	10	小池通崇	10	小山 茂	14	石橋 務	10
秋葉義廣	14	大日方勝利	22	清水敏弘	14	坂井英樹	11	羽田啓吾	10	若林春樹	11	甲田幹夫	12	笹澤和平	14	遠藤和美	10
井沢 敬	19	尾崎晴夫	14	清水幸雄	12	清水忠勝	10	花岡孝雄	13	渡辺節男	10	小島幸一	14	清水通男	20	小川亮夫	13
伊東啓治	13	柿崎靖夫	12	下里 剛	12	関 勝男	13	牧野紀明	13	64期		小林国雄	11	滝沢一郎	10	尾立孝司	10
伊東紀男	12	掛川勝司	10	白井 透	15	関 勝	12	松井由美	16	浅井康彦	16	小宮山善郎	10	田口 博	11	片井 修	11
伊藤文明	14	加藤 高	11	鈴木光人	11	高橋宗雄	11	松山 武	12	荒井裕二	13	小宮山 豊	10	竹内豊和	11	蟹江由美子	12
大井秀三郎	13	木下嶺夫	12	袖山 脩	14	滝澤 進	11	真山隆夫	13	有賀 猛	11	小山雅堂	13	田中 茂	11	倉沢 裕	10
大島仁士	11	工藤卓也	10	高沢博行	10	田沢 洋	14	宮坂信章	14	石井則男	11	小山佳朗	14	田中富昭	10	小泉 薫	10
大日向寛敬	12	小林賢一	12	鷹野芳機	15	玉木純雄	12	宮崎信二	12	一瀬清治	11	桜田喜貢穂	14	田村和枝	12	清水龍夫	12
片岡春雄	12	小林宏行	11	滝澤章次	13	出本勝也	10	村上国夫	19	一場美智子	13	笹沢政利	10	中村充夫	10	下村文彦	16
金井 久	11	小林芳友	11	竹内善尉	11	成沢文計	10	村川誠子	19	奥村恭子	12	佐藤徹郎	14	緑川正次	10	関 和義	12
金子親碩	13	小林朋晃	12	竹倉征詞	15	西澤正捷	17	室賀太郎	13	小野沢常裕	13	真山 亨	14	宮坂栄一	11	高橋 実	11
鎌原昭治	15	小林義典	14	武田直樹	11	野口文武	14	諸岡健児	12	小野博見	10	澤井繁男	10	茂木俊郎	14	高見沢一彦	10
北野啓司	14	坂口茂夫	10	田中誠一	12	羽毛田仗一	17	柳沢昌俊	10	片桐和夫	14	塩川明男	10	柳澤公雄	13	土屋文男	11
北村尚巳	10	櫻井資悦	10	田中良樹	11	林 勝秋	10	柳澤敏雄	14	金井栄治	11	柴田正文	10	山極正直	10	栃原重文	12
久保田達夫	13	清水 和	14	田中 節	11	半田利雄	12	依田欣五郎	12	河上公洋	14	清水袈裟光	10	山辺樹久生	12	藤谷芳子	12
倉島今朝徳	21	清水侯博	11	田中武夫	10	平林秀明	10	63期		北川原 智	11	清水俊文	14	山邊豊文	13	古畑克巳	12
小池 晃	11	関 和明	11	田中一穂	12	星山輝男	10	青木郁夫	12	北原巖男	11	神宮 進	10	67期		堀内俊夫	10
神津 進	12	関根克郎	11	塚田 晃	15	細萱英久	13	浅野幸司	11	児玉正直	10	関 賢治	10	飯島康夫	14	山村由紀子	14
後藤史郎	13	関本桂子	10	戸塚武雄	12	堀内寿美	24	甘利憲一	10	小松正佳	10	関森寿一	12	石田清章	14	吉村邦彦	13
小林俊雄	11	高橋謙夫	10	長崎 誠	11	松尾英昭	10	飯島俊文	14	小宮山 孝	10	高見沢文雄	11	岩崎 章	11	渡辺康明	10
小林慶三	11	武重昭蔵	11	中島 亨	15	三井文人	13	飯島正文	13	佐島利行	10	滝沢克俊	12	生鳥久資	10	70期	
小山 泰	11	田村 功	10	中島敏男	14	宮坂 清	12	飯塚一雄	10	塩川伸明	18	瀧沢政視	13	熊坂文成	15	安藤 哲	13
小山捷二	12	千野裕明	13	西沢國隆	14	宮沢達士	10	市村武次	14	島田彰男	10	武澤美佐子	14	小林みゆき	13	伊藤彰紀	11
桜井成樹	12	土屋勝典	13	沼形泰枝	13	宮島英紀	30	伊藤秀夫	11	清水淳郎	10	田尻英敏	10	小松康夫	12	大橋志津江	11
佐藤鐵也	10	土屋晴彦	10	羽毛田 信	15	麦島和子	15	上原信玄	10	清水計枝	12	田中 昇	11	小山正樹	10	小池朋子	11
品川勇一	12	常盤秀夫	12	橋詰武敏	14	望月 信	17	内山宗芳	11	清水安雄	11	田中由紀子	11	坂口一樹	10	渋沢 稔	15
清水博一	10	西沢正浩	10	久田英保	10	柳原 穰	22	大塚和弘	10	清水敏久	11	田村栄治	13	清水研一郎	11	武井隆道	10
清水壽一	11	萩原清人	11	平林 久	14	山浦直次郎	14	荻原英夫	10	春原和民	11	田村一平	13	田中啓子	12	田中正行	14
城下 尚	14	長谷川久二	18	福嶋 宣	19	吉澤善男	12	小田中時幸	10	関川 哲	13	塚田道明	11	谷合裕子	10	中村建哉	14
杉浦皓充	10	羽田幸善	12	前田尚武	12	吉田光明	10	金沢嘉昌	10	高梨芳男	16	土屋富志夫	11	堤 達	10	中村喜嗣郎	12



年会費納入者一覧 (2011年3月末現在)

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2010年度以降の年会費を納入した方(1,379人)です。
- ▶名前の後の数字は、その年度まで納入したことを示しています。(例:12=2012年度分まで納入済み)
- ▶会報に同封の年会費の直近納入日、納入期限をご参照ください。80歳以上の方は年会費免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントいたします。

お問い合わせ先：事務局（幹事長）栗山正雄まで TEL/FAX 03-3811-2639

32期	関本秀治	2011	荻原賢	2015	水野哲雄	2015	八木浩輔	2013	大塚教夫	2011	河西秀夫	2014	55期	神津進	2016			
水野利男	2012	田澤 徹	11	小澤泰衛	15	翠川 勲	10	柳澤 暁	14	大塚昌宏	15	北原禎夫	10	青木幹男	2011	甲田洋二	13	
35期	田守正雄	19	小野 実	12	宮下厚樹	10	柳沢 純	19	尾崎俊朗	12	久昌貴代江	10	秋葉光廣	14	小平節夫	19		
石井 暢	15	土屋 博	20	久保利夫	14	宮原省三	22	山田直衛	14	加々木悦朗	17	沓掛文哉	10	秋山弘志	11	小林英郷	11	
滝澤 正	16	豊城 乾	10	小林喜六	14	宮本嘉興	13	横島義之	13	掛川多美雄	12	倉島 彰	11	荒井恒雄	14	小山莊司	10	
36期	中村義夫	10	小林齊之介	10	齋 滋	11	吉沢深二	13	掛川弥永	11	黒岩千鶴子	13	飯島慶三郎	14	近藤 勲	10		
小川太郎	11	西澤祥平	11	銭澤未治	15	柳沢洋一	12	六川二郎	12	掛川一彦	10	黒川次郎	13	伊藤典久	10	近藤征司	10	
37期	西村 勉	12	高野郁雄	11	柳澤正人	14	六川博輔	16	懸川文夫	12	呉 公一郎	12	井上 馨	10	坂田治三郎	11		
清水志郎	15	花村義男	18	滝澤茂夫	11	山崎和美	11	52期	掛川康夫	11	神津勝重	13	上原 尚	10	笹澤政道	19		
39期	深井明爾	10	滝澤脩三	10	山田秀昭	11	青木 功	31	柏村孝行	21	小菅健司	11	荻原光夫	14	佐藤英和	11		
菊地 博	16	牧内 操	14	田中達夫	11	山辺孔一	14	赤池孝之	11	川村作子	14	後藤人三	12	箕 正博	12	佐野勝雄	10	
40期	丸山栄一	20	田村和男	15	山辺文雄	11	飯島孝一	13	小泉 孟	10	小林勝利	23	片岡恒夫	11	柴田義人	12		
児玉安彦	10	三浦嘉治	18	鶴見慎一郎	11	吉村洋一	19	飯塚和男	16	小泉勝夫	14	小林干城	10	木村和幸	16	関 勝久	12	
森山博司	13	水野 純	11	永井俊夫	11	渡辺一雄	11	池田松子	14	小出 武	12	齊藤智巳	10	草間 孝	10	瀬下正利	13	
41期	宮原信治	10	花岡 潔	11	渡辺洋一	22	生駒利行	13	小林忠夫	11	櫻井 敬	12	沓掛勝利	15	鷹野致和	11		
清水栄一	10	山岸五郎	10	樋村晃一	10	51期	石合正和	12	小林乾泰	11	滋野三樹	14	沓掛正幸	13	滝沢 健	12		
古松 彰	10	山崎繁廣	11	堀内寅次	15	青島昭久	12	稲垣正武	11	小山 哲	10	篠原亢司	13	倉見英一	13	竹内 仁	11	
宮下俊夫	14	48期	前田芳造	10	浅野井 哲	12	上原佳和	10	関 正勝	14	関 正勝	14	黒岩了	12	立岩 環	11		
42期	相田俊一	12	牧内泰道	18	荒井一男	12	荻原静寿	14	桜井功輝	10	滝沢義信	12	小宮山忠彦	14	田辺順一	15		
岩下 實	15	今井正明	10	町田健一	10	有賀秀雄	12	掛川十次郎	11	佐藤明朗	11	滝沢英統	10	坂口宏明	11	田村 功	11	
栗田裕夫	13	入山一徳	10	松岡秀夫	11	飯塚 壽	12	掛川正司	16	塩野入 剛	13	滝沢 正	14	坂口守夫	15	鳥居次生	12	
高橋祇市	14	浦田光雄	11	松本初男	20	池田義雄	18	川村 努	10	杉浦醇一	14	滝澤睦夫	12	清水 勇	19	長崎哲夫	14	
43期	大平 暁	12	翠川 輝	12	井出英三郎	11	古平伸吾	14	須田武久	10	竹内 節	15	清水好昭	13	中村 勉	15		
手塚慶次郎	14	柿崎真吾	13	宮坂 博	19	上原隆雄	15	小林俊憲	13	芹沢袈裟三	12	竹重節雄	13	杉原積雄	12	中山英之	10	
保刈大治	11	掛川周男	14	宮下利平	10	上原 昂	11	小林盛男	10	高木快雄	16	田中嘉親	30	関 五郎	12	成田邦夫	13	
横澤昭安	10	金岡信夫	10	柳沢敏郎	13	白田 稔	10	小林武彦	13	武井 淳	10	田村 朗	15	滝沢克彦	12	新沼淳雄	12	
44-5期	熊川次男	10	山岸萬亀男	12	内久根孝一	11	小林孝典	24	小森孝典	24	塚田 靖	16	千村一平	11	滝沢 傳	13	西沢興宣	12
北澤 守	11	小林富士雄	15	依田好雄	10	太田幸男	14	佐藤健一	10	土屋 隆	10	土屋勝俊	11	滝沢哲三	12	西島幹夫	15	
久保田昭寿	12	小林芳彦	13	渡辺侃治	11	小胎治雄	10	柴田正人	13	寺田明彦	14	土屋晃一	10	田玉尚武	11	羽島昭一	11	
甲田悌三	13	小松昭威	11	50期	掛川國雄	12	新保知右喜	13	須藤尚彦	15	寺西 孝	14	塚田征司	14	濱村邦夫	12		
児玉喜年	11	坂梨 港	14	甘利信明	10	鎌野秀嗣	11	須藤尚彦	15	瀨川直佑	10	中島 均	11	塚田忠夫	12	平尾充雄	11	
小林義徳	11	佐藤 尚	10	五十嵐明迪	11	蒲生卓磨	11	瀨川直佑	10	服部聡一郎	38	中島隆之	12	土屋 務	11	平野武明	12	
44-4期	篠原泰司	10	石井一郎	14	倉沢直哉	14	関 正利	12	馬場正彦	10	中村一彦	12	土屋英明	10	藤沢行雄	12		
小林一雄	10	清水雄司	11	石井敬二	11	黒川嘉郎	14	高松健治	12	半田義昭	11	中村忠勝	13	鶴見貞夫	12	松瀬勝雄	10	
竹内秀彦	23	城下栄三郎	11	井出藤壽	13	小林貴一	12	滝澤 格	12	半田喜章	12	成田崇宏	12	遠山武彦	10	宮坂 卓	11	
中村 強	10	春原 寛	16	上原健一	10	清水 順	12	滝澤 格	12	藤井真澄	11	橋田ちせ	14	臣川晃夫	15	宮島正和	10	
45期	高柳英治	11	尾台 久	16	清水英明	14	武半正一	10	藤森善也	10	橋詰守人	10	長峯道明	14	村井 弘	10		
掛川暉夫	10	高柳直樹	11	金井忠雄	27	滝澤英彦	20	土屋義子	11	山邊一磨	14	花房伸吉	12	橋詰孝子	13	村山 剛	13	
森 茂	16	竹内一夫	10	金井昭夫	11	武井 厚	10	中村茂之	11	堀内幹本	10	馬場武彦	12	波田野 彰	13	柳沢省三	14	
46期	田原 敬	11	鹿野耕次	10	竹内英晃	10	橋爪今朝彦	13	堀内 福	11	堀内 福	11	馬場雄二	11	平野 誠	10	柳沢安信	11
有賀 治	14	土屋 亮	11	工藤俊夫	12	龍野勇介	13	藤井清彦	13	堀内忠久	20	深井克彦	11	間島 巖	13	山極卓也	10	
神林常視	11	土屋侃司	12	久保長行	12	徳永慈宏	11	藤村 伸	13	堀内正智	10	福田斎一	12	松尾 裕	14	横沢敏雄	12	
工藤忠房	11	中澤利雄	10	久保田 滋	14	中澤良行	12	古川 一	26	増田隅雄	12	藤村延彦	11	宮入健二郎	11	横島庄治	10	
久保宗一	10	中村哲治	11	神津安夫	11	中島通明	12	松崎義一	13	村山憲太	12	堀内木意	12	宮島光男	17	依田幸雄	11	
佐藤 信	10	平林直之	10	興水朝治	10	中島 宏	20	松沢秀雄	13	柳澤浩二	11	前田喜美子	15	毛利義範	11	若林克寿	10	
清水巻郎	10	堀内道夫	12	児玉忠雄	12	中曾根 聡	13	水出康雄	11	山崎達夫	12	松井平三	23	柳沢郁政	13	57期		
長谷川 潔	11	堀内 惇	11	小林幸夫	10	中山隆雄	13	森 浩一	11	山本一夫	10	丸山俊二	14	和田 守	21	青木周二	11	
水澤 博	11	峯村千徳	11	小山邦介	11	成澤誠司	21	柳沢 忠	15	山本農夫彦	12	宮入裕夫	16	56期		有井 毅	15	
宮沢 寿	12	宮澤英人	10	小山洋之介	32	長谷川孝一	13	山口直枝	13	横田武夫	13	宮崎親作	12	赤尾信吉	14	池田教範	17	
47期	山極喜郎	14	春原賢一	10	早川正範	13	53期	饗場邦光	10	若林清和	12	宮沢壮介	12	飯高盛龍	13	池田盛司	17	
飯田久夫	10	山崎延秋	10	袖山睦啓	10	保坂利勝	10	饗場邦光	10	渡辺百枝	11	宮島 博	10	上原清治	14	池田真司	10	
井出周利	12	吉村 功	10	滝沢主計	10	堀内弘栄	13	阿久津義雄	12	天野清司	12	宮本昌典	11	内海章緒	21	宇賀神一雄	11	
上原 亨	11	49期	竹内啓爾	26	堀内照雄	17	浅野井 恭	15	飯島秀也	11	望月源治	11	大久保治夫	10	白田茂二	11		
片山治夫	14	青木喜久彌	12	武重秀雄	12	丸山瑛一	12	飯島房子	11	有賀俊雄	11	柳沢伸勇	12	大塚明彦	12	榎本金二	15	
加藤文郎	10	芦田 純	12	塚田 満	17	丸山 弘	11	井澤 保	10	石原澄江	11	柳澤 明	10	大日方 昂	10	大谷光弘	13	
金子 宏	10	飯島弘行	12	新堀英行	11	宮川 司	14	井上真人	11	市河富弘	15	柳澤嘉計	14	岡田建治	12	岡川章夫	11	
柄沢和彦	11	石塚民雄	12	西野 明	14	宮澤正躬	11	井上真一	11	井上順允	15	山浦輝信	14	河西邦彦	12	皆瀬 淳	10	
小山邦朋	10	上原啓郷	11	沼田 淳	11	宮本忠一	11	岩崎 涉	11	大矢憲明	10	山崎茂幸	14	笠原征夫	13	加賀美欣二郎	12	
笹井 博	20	榎本秀雄	20	馬場進吉	18	村田 寛	14	岩田 久	11	小川 廣	10	山田信明	13	間間英信	13	金澤昭義	11	
佐藤 喬	37	大石和夫	10	堀内健二	15	母袋博一	12	大久保正寿	12	荻原統夫	13	山本大吉郎	13	柏木 進	10	神林英男	13	
佐藤一郎	14	岡田暉夫	11	間庭秀人	11	両角克己	11	大久保慶次郎	10	大日方 真	10	山本正秀	10	勝野裕夫	14	倉島俊二	13	

(P18からの続き)

花岡千賀子 2010	岩崎裕治 2010	橋爪尚子 2011	清水順三 2013	松尾 弘 2010	84期	96期	久保田智史 2011	高柳賢治 2011
平賀淳子 16	榎本美智子 10	藤木和彦 15	滝村 浩 10	松木富士子 11	児玉直美 2010	関 隆臣 2010	永井加奈子 10	古澤 挙 10
丸山清光 11	奥山利幸 11	藤澤市郎 13	土屋久幸 11	宮原博之 10	佐藤美奈子 10	渡辺章子 10	山崎双葉 10	丸山卓朗 10
丸山幸夫 14	川崎とみ子 13	柳沢信雄 14	広田徳明 13	80期	城下理恵 10	97期	依田慶子 11	丸山達朗 10
緑川正博 13	氣田夏子 12	74期	福井正彦 17	會田信子 31	茶碗谷 剛 10	津島葉子 10	103期	水野高夫 12
虫明陽子 12	小宮山修邦 10	猪田真紀子 10	堀籠秀直 15	石黒久仁子 10	本田潤一 10	露久保智美 12	石川琢也 10	105期
山本文和 10	小山昇治 10	遠藤誠子 10	77期	北川雅永 10	宮澤泰正 10	依田恵美子 11	井出洋文 14	小林まゆ子 10
71期	関 博明 10	荻原久俊 14	78期	小山修一 10	宮島康暢 10	98期	大谷真宙 10	106期
青松英男 13	関 雄二 10	草野義嗣 10	高山邦明 10	高森康利 10	吉池 仁 14	北 周士 10	北沢宏太 10	池内修子 10
赤木千江子 13	竹内功一 10	小宮山伸之 13	78期	松尾淳子 10	85期	松林道雄 11	小若井聡美 11	堀 淳志 11
飯島 昭 10	田中 誠 13	坂口洋三 14	井上 浩 10	柳沢孝之 10	小須田武志 13	吉池竜介 10	小林隆人 10	107期
岩下秀市 12	田村順一 10	西澤重雄 10	鶴殿理枝 12	81期	近藤弘司 11	99期	田中 聡 10	甲田英里子 10
内田みつ子 10	塚原三喜夫 12	林 幸平 11	小相沢直美 13	今田明日香 11	桜井紀彦 10	小泉奈保子 10	中澤 悠 10	108期
久保田則夫 14	寺嶋正明 14	宮下研也 11	田村理恵 10	小池 徹 10	村上和香子 10	鈴木有子 10	中村大輔 10	阿部光月 10
小林孝弘 14	長坂武見 12	75期	根本昭子 10	田中広栄 10	87期	戸田奈緒美 10	西澤優子 10	大澤慎太郎 10
近藤 徹 11	福田礼子 10	草野多加子 10	諸山 司 10	服部みどり 10	北村玲子 13	中曾根栄子 10	水沢聡志 10	金井雄飛 10
杉崎経雄 19	船渡和男 15	小林正宏 11	吉岡雅子 10	82期	永井 博 10	矢島好太郎 10	山越聖子 10	小林壮太 10
高木 繁 12	無相大拙 10	竹内幸隆 14	吉田和子 14	島川 隆 10	89期	山口裕子 10	依田秀男 10	櫻井義彦 10
中沢茂明 10	依田昌樹 11	羽田 平 14	渡邊 博 15	田玉智明 13	小井幸治 14	100期	小池伸太郎 10	宮本 司 10
中沢庄平 14	渡邊温子 10	丸山 誓 10	79期	中村 薫 11	野澤郁子 12	滝澤成晃 13	岩田菜里子 11	横澤希美 10
中谷夕紀子 11	73期	宮島省吾 13	阿部真由美 10	長谷川 浩 12	91期	滝澤 章 10	内山友里恵 10	計 1,379人
望月亮子 13	梅原裕子 10	山田美紀 14	今井 明 12	長谷川達哉 10	滝沢綾子 14	田中悠樹 11	小林 茂 10	
柳沢幸夫 11	尾台通久 15	和氣寿子 11	荻原 貴 11	堀田きよみ 10	92期	中川央充 10	小山 諒 10	
若林典雄 10	河野嘉子 12	渡辺聡明 22	小宮山恭子 10	83期	植松真弓 11	吉池継介 10	坂口直兄 11	
和久津智恵子 10	須貝 博 10	76期	坂田尚美 10	榎本かおる 10	95期	102期	佐藤翔太 10	
72期	滝沢次郎 10	臼田 滋 10	清水雄至 10	竹内延彦 11	青木一也 10	石塚三夏 10	清水文隆 11	
青沼 泉 10	土屋秀俊 10	小林忠利 10	竹鼻ゆかり 10	84期	玉田優子 10	沓掛大樹 10	白石桃子 10	
今井一郎 14	橋爪宏達 11	佐藤美恵子 14	中村通孝 10	85期	橋本清香 11		曾根崇智 11	

寄付者 / 寄付グループ

(2010年9月30日～2011年3月31日)

運営基金拠出者

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
37	小山敏雄	2,000	58	寺島知恵子	20,000	65	土屋富志夫	6,000
42	佐藤成男	4,000	58	星野和俊	4,000	66	小林周一	2,000
43	保川大治	6,000	59	高橋謙夫	3,000	67	飯島康夫	1,000
47	上野平八郎	1,000	59	柳沢建夫	5,000	69	小川亮夫	3,000
47	三浦嘉治	5,000	60	大池高保	1,000	71	久保田則夫	4,000
47	山岸五郎	2,000	60	大橋邦夫	3,000	71	中沢庄平	5,000
48	中澤利雄	1,000	60	白井 透	1,000	71	和久津智恵子	3,000
49	堀内寅次	6,000	60	日置勇二	50,000	84	佐藤美奈子	10,000
50	宮原 巍	10,000	62	甲田充彦	2,000	98	吉池竜介	3,000
50	渡辺洋一	20,000	62	田島善光	2,000	100	吉池継介	3,000
51	両角克己	1,000	63	佐伯謙吾	5,000	108	金井雄飛	1,000
55	木村和幸	5,000	63	田中将揮	5,000		役員有志	5,700
56	笹澤政道	2,000	64	関川 哲	3,000		61期7組有志	9,000
57	高木佳年	5,000	64	山浦ひろみ	1,000		計	230,700

期	氏名	金額
35	城田 賢	10,000
47	牧内 操	10,000
50	宮原 康	10,000
50	渡辺洋一	20,000
60	羽毛田 信	10,000
62	川上千秋	10,000
63	田中将揮	10,000
64	平林正明	10,000
68	織田辰郎	10,000
72	渡邊温子	10,000
81	原 昌光	10,000
98	吉池竜介	10,000
100	吉池継介	10,000
	計 13人	140,000

震災後の菅政権の対応を批判

後藤謙次氏が松尾倶楽部で講演



松尾倶楽部の第141例会が4月27日、千代田区神田駿河台の総評会館で開催され、65人が参加した。

この日の講師は政治ジャーナリストの後藤謙次氏。共同通信の政治部長、編集局長、TBSのキャスターなどを務めた同氏は「東日本大震災と政治」と題して講演し、震災後の菅政権の対応について、オフレコの裏話を含めて分かりやすく解説した。

後藤氏は、阪神大震災の教訓にもかかわらず、初動が遅れたうえ、官邸内に組織をつくりすぎたため、指揮命令系統に混乱を招いていると批判。「被災者の不安に対し、政権中枢から明日に向けた力強いメッセージがないのも残念だ」と語った。

ただ「菅降ろし」については、有力な後継者が見当たらず、現時点ではほとんど可能性がないとの見方を示した。





会員短信

新年会への
出欠はがきより

31期 澤田光雄

100歳近いですが元気で、あの世行きもそう遠くないので、身辺の整理をしています、なかなかほかどりません。

35期 中山順蔵

高齢で体調不良のため欠席です。会報は拝見したいです。

36期 小川太郎

寄る年波には勝てず、あちこち痛んできましたが、毎月25日の上田36会には出ています。

37期 清水志郎

小平市の「けやき句会」の会長をしています。

40期 吉田節生

転落事故で危うく一命をとりとめましたものの、まだリハビリが残っています。

40期 渡辺久雄

母が昨年上田で永眠しました。上田とは足が遠くなりました。

41期 宮下俊夫

諸先輩にお会いする機会がなく、寂しくなってきました。忘年会には41期の友だち13人の会合がありました。あと4年ほどのみ

んな卒寿となりますが、なんとか頑張つて過ごしたいものです。

42期 栗田裕夫

今年85歳になります。第2次大戦を経験し、戦後の復興も見てまわりました。そろそろ人生も終わりにしたいと存じますので、脱会いたしたいと思ひます。

43期 梅田 實

独り暮らし10年、会報で力を与えられています。43期A組は毎年秋、別所温泉「つるや」で同級会をしています。会報で皆さまの活躍ぶりを拝見し、力強い限りです。

43期 土屋 啓

80歳以上は年会費免除とありますが、振込用紙が来るのはなぜ？

44期 北澤 守

80代も半ばに近い高齢者ですが、堀内康男氏の記事に大いに励まされました。母校を同じくすることに誇りを覚えます。

44・5 北澤 守

80代も半ばに近い高齢者ですが、堀内康男氏の記事に大いに励まされました。母校を同じくすることに誇りを覚えます。

47期 山崎繁廣

私たち47期生は、本年80歳の高齢になりました。懐かしい母校の同窓会の発展を祈念しています。

47期 上野平八郎

とうとう傘寿を迎えます。息子夫婦と孫どもに囲まれ、幸せに暮らしています。

48期 中澤利雄

当日は残念ながら自治会役員会、老人会とも重なり欠席いたします。卒業以来60年となり、時々48期有志で元気に楽しく会合をしております。日本の現状は種々問題の山また山で、明日に希望、夢を求めて(?)

48期 堀内 惇

会報が充実しています。記録として残るものから、自然に関東同窓会の歴史を語るものとなりましょう。事務局関係者に深く感謝いたします。

48期 吉村 功

48期の仲間も傘寿を迎えるわけですが、正に高齢化社会です。

49期 岡田暉夫

春日部市より、09年12月に小平市に転居いたしました。

49期 松岡秀夫

12月19日に50数年ぶりに下呂温泉へ行って来ました。前回は乗鞍岳からスキーで平湯峠経由で下山

し、高山へ出て下呂温泉に泊まりました。宿や景観は変わったが温泉は昔のまま、よく温まりました。山では花を愛で、里では温泉を楽しむ歳になりました。

50期 上原健一

仕事を続けています。少しヒマができました。

50期 宮原 巍

たまたま今、日本ですが、あまり日本にいることもありませんが、名前を名簿から削除していただくか、通信停止にしてくださいようお願いします。今までの不義理のおおびに1万円振り込んでおきましたので、経費の足しにしたいだけだと思います。

50期 山田秀昭

残り数年の命と医者に言われていますが、格好だけつけてます。

51期 飯塚 壽

生死の大病でリハビリの最中です。

51期 上原隆雄

鬼丸さんのご活躍を応援します。

51期 八木浩輔

本年77歳を迎えますが、浦和大学学長の仕事を続けております。若い学生たちと接するのは楽しいことです。

祝 第50回記念総会 私たちが当番期です。お待ちしております。

総会実行委員長 小松正佳 (6組)

64期

- 1組 清水計枝 2組 小山信彌 3組 磯村雄二 4組 石井則男、竹内中和、矢ヶ崎智
- 5組 荒井昇三、倉沢直彦、野村 一、古川哲夫、星野伸男、宮澤康元 6組 久保田英二
- 宮坂信之、宮地研二、矢島勝美 7組 青木伸彦、小野博見 8組 塩川伸明、村居次雄
- 山本淳一 9組 清水淳郎、竹中 司、塚田高明、中島英清、永井信介、林久美子
- 藤巻禮子、宮下明子 (賛同者 50 音順)

52期 橋爪今朝男

生涯現役をモットーにささやかな社会貢献と余生を楽しむ趣味に努めており、元気でやっています。

52期 掛川十次郎

会報を楽しみにしています。駅まで3分だったのに8分になり、女学生に席を譲ってもらい、腰が曲がり、順調に後期高齢者の仲間入りをしました。

53期 懸川文夫

健康第一の日々で、元気にしています。

53期 小林乾泰

今年中の諸事取りしきり、ご苦労さまでした。今後、出席の機会が増えるよう努力します。

53期 須田武久

会報の新年会のご案内、教育会館の「電話番号」が落ちています。必要です。入れましょう。

53期 塚田 靖

当日、演奏会の予定があり、残念ですが出席できません。私の出演する「アンサンブル90」の演奏会は今回で23回目です。

54期 石井光春

元気でやっています。

54期 大日方 真

コンピュータにかかわって50年になりました。まだ現場から離れられないでいます。

54期 櫻井 敬

年齢並みに相応して元気にやっています。

54期 滋野三樹

出しそびれ遅れてしまいました参加できませんか。期日を守れないのは老いた証

拠。自戒々々。

54期 藤村延魚

息子の有村昆（アリコン）はホリプロタレントがテレビに出はじめ、親も忙しくなりました。サポートが大変です。映画コメンテーターという肩書きで出ています。よろしくご声援をくださいませ。

54期 山本大吉郎

近年、体調を崩しています。

55期 墨若 了

失いし右手（ゆんで）と語る師走かな

脳卒中の身、乱筆にて

56期 笹沢政道

急性骨髄性白血病も完治、通常の生活に戻っています。

56期 成田邦夫

土屋学さん（31期）が昨年暮れ、98歳の生涯を閉じられました。同氏には物心両面で関東同窓会は大変お世話になり、私の幹事長時、各会合にはいつも一番先にお出でいただき、大先輩のご矜持を強く感じました。

56期 濱村邦夫

会報81号に拙文「芳泉寺」を載せていただき、ありがとうございます。定められた枠にきっちり収まっており、編集にご苦労をかけたものと推測します。訃報の欄の上に来たのも何やら因縁めいています。同期の山浦敏照君以上はともかく、私より若い方々が早逝されているのは残念なことです。

政治的には混迷、経済的には低迷、社会的には思わぬ凶悪事件の発生でいいことは

心よりお悔やみ申し上げます。

訃報

- | | | |
|----------------------|-----------------------|----------------------|
| 26期 横山 嵩 2007年10月7日 | 44-5期 宮原茂樹 2008年9月30日 | 52期 田中芳夫 2010年12月 |
| 30期 朝倉保平 2010年10月10日 | 44-4期 荻原 隆 2010年6月 | 53期 大野正吉 2010年12月28日 |
| 31期 土屋 学 2010年12月17日 | 48期 山本輝彦 2010年10月7日 | 54期 掛川 久 2010年12月26日 |
| 37期 古畑徳宝 2008年11月12日 | 49期 金子昌英 2010年9月15日 | 56期 長坂光登 2010年12月16日 |
| 39期 出浦新一 2008年 | 49期 田中信二 2010年11月16日 | 58期 金井枉憲 2010年6月 |
| 41期 桜井 隆 2010年7月17日 | 49期 山崎睦夫 2010年10月 | 59期 水野敏男 2007年4月5日 |
| 41期 保刈徳彦 | 51期 宮川 格 2009年4月12日 | 62期 倉島真彦 2008年 |

当会最長老（顧問）

土屋学さん逝く



土屋学さん（31期）が昨年暮、98歳の生涯を閉じられた。同氏には関東同窓会、松尾俱樂部ともども物心両面

で大変お世話になった。以前から、関東同窓会を関東支部の名前に戻して欲しいと強く望まれていた。母校愛以外の何物でもない。

氏は1912年（明治45年）生まれ。古武士的雰囲気を持つ反面、人懐かしさを感じさせる微笑が印象的だった。幼少時代（6-11歳）に家庭の事情からブラジル移民を経験し、帰国後、上田中学に入学。勉学の傍ら剣道に打ち込み、1943年（昭和18年）には実業団大会で先鋒として関東配電（東京電力）を破り全国優勝した。

生涯前半は家計を支える大黒柱として、さまざまな辛酸をなめられたが、会社経営者として成功。まさに波乱万丈の生涯を送られた。後年はゴルフに熱中、小松原プロとテレビ出演するなど、いろいろな逸話に事欠かなかった。この辺りは、松尾俱樂部35周年記念誌「生きる」に詳しい。

私たち幹事長にとって、同窓会運営上で大変頼りがいのある大先輩でもあった。心からご冥福を祈りたい。

歴代幹事長

- 荻原 賢（49期）、堀内忠久（53期）
- 馬場武彦（54期）、宮島光男（55期）
- 成田邦夫（56期）、笠井徳爾（61期）



かりではない昨今ですが、ささやかな楽しみや希望もあり、あと10年はがんばりたいものと考えています。脚力は日に日に低下、検査をすれば黄信号、赤信号の数値…。1年、1カ月が大切に思われてきます。

57期 神林英男

10年7月末に退職しました。

57期 田沢雄二郎

11年3月末をもって(株)IHIを退社します。46年間の会社人生に一応のケリをつけます。

58期 北村尚巳

58期生の集まり(飲み会)を毎月第2木曜日午後6時からやっています。場所はJR神田駅近くの「六文銭」。58期生のページで場所をご覧ください。http://uedakanto.sakurane.jp/58ki/

58期 林 嘉市

40期の児玉安彦、44・5期の星野賢造先輩方が達者でびつくりしました。私も古希を迎えました。

58期 依田康徳

香港旅行予定で出席できません。

60期 今井勇雄

新年会は都合により欠席することとなり、上田出身の鬼丸師匠の高座に接する機会を失い、誠に残念にて候。ところで小生、昨年11月5日に松尾倶楽部恒例の工場見学に初参加いたしました。森永、花王、キリンの3工場の見学は秋晴れの下、有意

義な1日となりました。横浜の夕食会も中華街で盛り上がりました。同期の白井会長もご一緒でした。

60期 山岸文明

申し訳ありませんが、俳句会と重なってしまい、残念です。

61期 林 勝秋

NHKの関嶋梢さん、楽しみに見えています。今後も同様の情報を。

62期 有賀幾夫

実家で過ごす時間が多くなりました。会報などは実家へ送付願います。

62期 斎藤実敏

中国の大連で仕事をし、4年になります。今年66歳になりますが、周りの人々が皆若いので自然と元氣になります。

62期 関 祥行

地デジ化半年で忙しい毎日を送っています。

62期 高梨泰勇

今年も62期ゴルフ懇親会は6月2日、上田近郊で行ないます。40回大会です。多数の参加をお待ちしています。

63期 角田玲子

大学の通信教育3年(社会福祉学科)に編入したものの、異なる分野で基礎的な知識もなく、思いのほか苦戦しています。

65期 上原 昇

11年の目標は65期の年会費納入率のアップです。ご期待ください。

65期 小池通崇

原子力機構を退職してから、福井大学大学院工学研究科(原子力)で教授をしています。

65期 斎藤克博

昨年9月末に勤務先を退社し、単身実家に引っ越しました。

65期 柳沢賢次

35歳の時、古代日本の広範囲の分野に共通する幾何を発見し、その紹介に多忙を極めていました。現在の学者や研究者にとつて疑問にすら思わないこと、あるいは疑問に思っても説明することができないことに、挑戦し続けようと思います。学問研究のいい事例になりそうです。

66期 茂木俊郎

退職後は自宅と実家を行ったり来たりしています。デンマークにある「日欧文化交流学院」の支援活動を始めて20年がたちました。これは、ノーマリゼーションの父と言われる「バンクミケルセン」記念財団理事長を務める千葉忠夫さんが、日本の福祉の前進を願って創立した国民高等学校で、日本からの留学生、短期研修生は既に3万人を数えます。興味をお持ちの方は学院HPを見てください。日欧文化交流学院で検索できます。

67期 水島良子

町村合併に伴い住居表示が変わりました。

73期 梅原裕子

会報送付ありがとうございます。会計繁忙期を迎えますので、欠席させていただきます。

76期 宮川 正

長い間、沖繩勤務でしたが、ようやく戻りました。沖繩勤務中、剣道部の後輩たちが実に23年ぶりにインターハイ出場を果たしてくれました。「あっぱれ！」(宮川さんは元航空自衛隊イラク派遣隊責任者)

83期 尾添静子

年会費納入が停滞し、申し訳ありません。会報は引き続き送付いたければ幸いです。できる限り早急に入いたします。

84期 篠原勇人

長野県にUターンしました。

84期 城下理恵

年会費、コンビニなどから振込めるようにしていただくとありがたいと思います。

102期 永井加奈子

仕事の関係で懇親会からの参加になるかもしれません。

103期 大谷真宙

高校卒業以来、会費を納めていなかったこと、誠に申し訳ございませんでした。本年より社会人となり、その責任を自覚して、会費を確実に納めてまいります。4月より東京・大森にて仕事に就きます。

編集後記

東京電力福島第1原発の事故は5月中旬になっても、なかなか収束の兆しが見えない。地震と津波は人知の及ばぬ天災だが、原発事故は明らかに人災。「安全神話」に基づき原発開発を推進してきた電力会社、原子力安全・保安院の罪は重い。▼日本で事故が起きるなら、中部電力浜岡原発が最初だろうと思っていた。東海地震の震源域のほぼ真中にあり「日本で一番危ない原発」と言われていたからだ。菅首相の運転停止要請もやむを得ないと思う。▼石黒耀氏の小説「震災列島」(04年刊)の中に、大地震で浜岡原発が炉心熔融事故を起こすシーンがある。水素爆発、圧力抑制室の破損など、福島の事故にそっくりな状況も幾つか登場する▼通信社の静岡支局長をしていた時に浜岡原発の所長と何度か話す機会があった。「本の中では、所長は放射能に汚染された3号機に最後までとどまり、殉職しますね」と言うと、「私たちは安全を確信しています。小説とはいえ、あんなふうには書かれては」と、不満そうな顔をしていた。当時の所長は「クシマ」の現実を見て、いま何を考えているだろうか。

真山隆夫



駐東ティモール大使 北原巖男さん(64期)

「東ティモール」と聞いても、地図上で特定できる人は少ないだろう。9年前にインドネシアから独立したこの国で、日本を代表して「国づくり」支援に情熱を傾ける北原巖男さん(63)は元防衛官僚。自立して間もないこの国の平和と発展を願う気持ちは、だれよりも強い。

同窓生では珍しく伊那市高遠町の出身。警察官の父の転勤で県内の小中学校を転々とした後、上田2中から母校に入学した。「唯一転校がなかったのは上田高校の3年間だけ。担任の井出先生やクラスメートは、かけがえのない生涯の恩師であり、友だちです」と話す。

中央大学法学部を卒業後、防衛庁(現防衛省)に入庁。運用局長、管理局長、官房長などを歴任した後、2005年に防衛施設庁長官に就任。2007年8月に退官後、東ティモール大使に就任した。

以下は、大使から届いた「東ティモールの最新事情」です。

日本の真南5000キロ、世界の楽園バリ島の東、巨大なオーストラリアの直前の島。全国土面積は、私たちのふるさと長野県とほぼ同じで、人口は約半分の106万人。24年にわたる辛く厳しいレジスタンス、20万人余の尊い犠牲を経て、2002年5月、ようやくインドネシアから独立を回復した21世紀最初の独立国、東ティモール。

しかし、その後も2006年の騒乱事件、2008年の大統領襲撃事件などが続き、東ティモールと聞けば「治安は大丈夫?」。同窓生の皆さんも、そうお思いではないでしょうか。実は私自身もそうでした。しかも、2008年9月に当地に赴任し、空港を出た途端、最初に目にした光景は無数に張られた国内避難民のテント、テント、テント。1カ月ほど滞在した首都ディリのホテル前の公園もテントに埋め尽くされていました。大きく「UN」と書かれた国連の装甲車もいます。「大変なところだ」というのが、偽

らざる実感でした。

でも、今は全く違います。この国のリーダーは、こうした事件の背景を真摯に受け止め、社会改革に努めています。国民も平和を心から望み、独立を勝ち得たときの団結の大切さを改めて認識。自立への意識改革に努め、自分たちのかけがえのない国づくりにまい進しています。それが今の東ティモールです。合言葉はGoodby Conflict, Welcome Development!

こうした中、政府は今後20年の国づくりの基本となる「戦略開発計画」を作成し、農業、石油・天然ガス、観光などを中心とした国づくりを目指しています。ちなみに、現在この国がオーストラリアと共同でティモール海から採掘する天然ガスは年間300万トンで、すべてが日本に輸出されています。これはサハリンからの輸入量と同じで、日本の全輸入量の5%を占めています。また観光地で私が推奨する場所は、すごい源泉かけ流しで、ど迫力のマロボ温泉です。(当大使館HPの「ワクワク東ティモール」を参照)

グスマン首相自ら、全国65すべての郡を行脚して直接国民に説明し、協力を訴えてきました。

この国はまさに「坂の上の雲」の時代にあります。かつての日本がそうであったように、この時代



北原巖男氏(右)とイジリオ・コエーリョ新駐日大使

にある東ティモールにとって死活的に重要かつ急を要するものは人材育成です。そして道路、水などの基礎インフラの整備です。言うはやすくして、その実態は容易ならざるものがあります。わが国としても、東ティモールの皆さんのオーナーシップを前提にしつつ、その充実と強化に最大限尽力しています。

2012年には大統領選挙、国会議員選挙が行われます。民主的かつ整齐と実施され、同年末には、国連も撤収を開始するでしょう。今年3月28日には、全土の警察権も国連警察から東ティモール国家警察に移管されました。東ティモールの皆さんは、かけがえのない平和を守りつつ、自立に向けた歩みを少しずつですが、しかし確実に進めています。

そんな皆さんからは、3月11日に発生した未曾有の東日本大震災に対し、本当に温かい励ましや支援をいただいています。エルメラという地方の田舎で、母親や赤ちゃんの健康を守るため頑張っている日本のNGO「SHARE」の日本人女性の家族が被災され、家は破壊、長い間連絡が取れなかったのですが、現地の皆さんがミサを開き、お祈りをささげてくれたとのこと。とてもうれしく伺いました。

そんな東ティモールです。関東同窓会の皆さんのご来訪をお待ちしています。

当館のHPも、ぜひご覧ください。

<http://www.timor-leste.emb-japan.go.jp/index.htm>



東日本大震災支援への感謝バナーを掲げる日本大使館